令和３年度　琴浦町事業レビュー

１．日　時

１１月２７日（土）　９：００　～　１６：１５　（受付 8:30～）

２．会　場

赤碕地域コミュニティセンター（分庁舎）　２階　多目的ホール

３．日　程　（進捗状況により、時間帯が前後する場合があります。）

時　間	内　容
9:00　～　9:10　(0:10)	開　会
9:10　～　10:25　(1:15)	○事業番号１（テーマ：移住・定住） **空き家ナビ運営事業**
10:35　～　12:00　(1:25)	○事業番号２（テーマ：高齢者の健康づくり） **介護予防普及啓発事業**
12:00　～　13:00　(1:00)	（昼休憩）
13:00　～　14:15　(1:15)	○事業番号３（テーマ：子育て支援） **放課後児童クラブ**
14:25　～　15:55　(1:25)	○事業番号４（テーマ：生涯学習） **社会教育振興事業**
15:55　～　16:15　(0:20)	閉　会

４　コーディネーター等

（１）コーディネーター

熊井（くまい）　成和（しげかず）　氏（一般社団法人　構想日本　特別研究員）

（２）審議員（外部有識者）

福嶋（ふくしま）　浩彦（ひろひこ）　氏（元我孫子市長、元消費者庁長官）

野津（のつ）　伸治（しんじ）　氏（鳥取短期大学教授）

伊藤（いとう）　伸（しん）　氏（構想日本総括ディレクター、内閣府政策参与）

石田（いしだ）　恵美（えみ）　氏（BACeLL 法律会計事務所　弁護士・公認会計士）

～ 注 意 事 項 ～

1　会場内での携帯電話は、マナーモードにするか、電源をお切りください。

2　施設内は禁煙となっています。

3　本日の会場内の状況は、町報、報道機関の各種報道媒体を通じて公開される場合がございます。あらかじめご了承ください。

4　傍聴者からの質問は受け付けませんのでご了承ください。

5　研修会終了後、今後の業務運営の参考とさせていただきますので、「アンケート」にご協力をお願いします。アンケートは、お帰りの際、受付けにてご提出ください。

6　研修会の参加にあたっては、マスクの着用、手洗い、アルコール消毒、咳エチケットなど感染症予防対策にご協力ください。

7　万が一、研修関係者等の感染が確認された場合で、保健当局において、濃厚接触者に該当する方が、受講者にいると判断された場合、受講者の連絡先等情報提供を要請される場合があります。要請があった場合は、保健当局等に対し、必要な情報提供をさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

令和３年度　琴浦町事業レビュー　資料

事業番号	事業名	担当課	ページ番号
1	空き家ナビ運営事業	企画政策課	1
2	介護予防普及啓発事業	すこやか健康課	7
3	放課後児童クラブ	子育て応援課	21
4	社会教育振興事業	社会教育課	27

事業番号 1

2021 年度

事業シート（概要説明書）

事 業 名	空き家ナビ運営事業	事業開始年度	H20
上位施策事業名		担 当 課	企画政策課
根拠法令等	琴浦町空き家情報登録制度設置要綱	係 名	人口対策担当
事務区分	■自治事務　□法定受託事務	作成責任者	浜川
実施の背景	少子高齢化と人口減少を背景として、都市部から地方への移住者確保が重要な課題となっています。移住時の大きな課題として、移住後の仕事と住居の問題があります。また、適正に管理されない空き家等が周辺環境に深刻な影響を及ぼしていること等に対する懸念が高まっています。		
目 的（何をどうしたいのか）	定住促進による地域の活性化と、空き家の有効活用を図る		

事業概要

対 象（誰・何を対象に）	・移住希望者（空き家ナビ情報送付先）34人 うち町内6人 ・空き家所有者（空き家判定Ｄ，Ｃ該当分）131件	対象者数（全住民に対する割合）	165 人（ 1 ％ ）
実施方法	■直接実施		
	□業務委託 又は □指定管理 （委託先又は指定管理者： ）		
	□補助金〔直接・間接〕（補助先： 実施主体： ）		
	□貸付（貸付先： ）□その他（ ）		

事業内容（箇条書き）	事業費	活動指標
「空き家ナビ」ホームページ保守	0 千円	
空き家登録業務（撮影、ＨＰ編集等）	92 千円	登録件数
相談、内見対応、移住に向けた支援	0 千円	相談件数
	千円	
	千円	

事業内容（手段、手法など）

関連事業（同一目的事業等）

〇移住関係補助金
・移住定住奨励金　・リフォーム代補助金
・家財道具撤去補助金　・新しいライフステージ支援奨励金

コスト

		2021 年度（予算）		2020 年度(決算)		2019 年度(決算)		2018 年度(決算)	
事業費	事業費合計	92 千円		0 千円		1430 千円		0 千円	
事業費	事業費内訳（2021年度分）	画像データ編集共有アプリ使用料　66千円 空き家撮影用カメラ26千円							
人件費	担当正職員	0.1 人	654 千円	0.1 人	654 千円	0.1 人	653 千円	0.1 人	667 千円
人件費	臨時職員等	0.1 人	153 千円	0.1 人	153 千円	0.1 人	176 千円	0.1 人	191 千円
人件費	人件費合計	0.2 人	807 千円	0.2 人	807 千円	0.2 人	829 千円	0.2 人	858 千円
総事業費		899 千円		807 千円		2,259 千円		858 千円	

財源内訳

国県支出金	100 千円	87 千円	88 千円	96 千円
国県支出金の内容	県移住定住推進交付			
地方債	千円	千円	千円	千円
その他特財	千円	千円	千円	千円
その他特財の内容				
一般財源	799 千円	720 千円	2,171 千円	762 千円
財源合計	899 千円	807 千円	2,259 千円	858 千円

事業番号 1

2021 年度

事業シート（概要説明書）

事 業 名	空き家ナビ運営事業	事業開始年度	H20

		【活動指標名】（実績値/目標値）	単位	2020 年度	2019 年度	2018 年度
事業実績	活動実績	登録件数	件	15/-	21/-	11/-
		成約件数	件	12/-	11/-	8/-
		空き家登録相談	件	20/-	不明/-	21/-
		移住相談件数	件	20/-	19/-	38/-
	単位当たりコスト	／				

事業成果	成果目標（指標設定理由等）	○空き家ナビ登録件数 移住希望者が住居として空き家を探す際の選択肢を増やすのと同時に、所有者の空き家利活用を促進する指標として登録数を指標としました。 ○成約件数 実際に空き家が利活用された数値として成約件数を指標としました。

		【成果指標名】（実績値/目標値）	単位	2020 年度	2019 年度	2018 年度
事業成果	成果（目標達成状況）	登録件数	軒	15/-	21/-	11/-
		成約件数	軒	12/-	11/-	8/-
				/	/	/

事業の自己評価（今後の事業の方向性、課題等）	平成３０年度に行った調査によると、琴浦町には約６５０件の空き家が存在しています。空き家ナビにより毎年１０件前後の空き家が利活用されており、一定の成果としてみることができると考えています。 琴浦町では、地元不動産業者のネットワークで空き家物件の登録に協力していただいています。個々の不動産業者では移住者への信頼を得ることが難しいことから、信頼度の高い行政が　ホームページを管理し、不動産業者へつなげる役割を果たしています。 ホームページの充実も重視しており、３６０度カメラによる物件写真を導入し、実際に物件の見学をする前に、よりリアルな画像で物件を確認いただけるようになっています。 一方で、ナビへの登録件数が随時１０件前後で推移しており、登録件数を増やすことが必要と考えています。今後は登録件数を増やし移住希望者の選択肢を増やすことにより、ホームページをより多くの人に活用してもらえるよう充実させていきます。
比較参考値（他自治体での類似事業の例など）	＜県内他自治体＞　※（ ）は11/17時点の空き家登録件数 北栄町空き家情報バンク（17件） 湯梨浜町空き家情報バンク（7件） そうだ！倉吉で暮らそう「空き家一覧」（21件） 三朝町空き家空き地バンク登録物件情報（8件） 大山町空き家空き地情報（16件） 鳥取市空き家情報バンク(19件)
特記事項	

空き家ナビ

> 空き家情報登録制度について　> 様式ダウンロード　> 物件情報を優先して欲しい方

REGISTED on 2018/06/07

No.136 売却
琴浦町大字赤碕31-16
価格:3,500,000円

REGISTED on 2021/09/21

No.135 売却
琴浦町大字別宮459
価格:3,600,000円

REGISTED on 2019/09/19

No.134 売却
琴浦町大字九尾36
価格:7,800,000円

REGISTED on 2021/07/15

No.131 売却
琴浦町大字八橋1488
価格:9,000,000円

REGISTED on 2021/06/30

No.130 売却
琴浦町大字福永249
価格:4,800,000円

REGISTED on 2021/06/15

No.128 賃貸
琴浦町大字大父862
家賃:50,000円/月

REGISTED on 2021/01/06

No.125 売却
琴浦町大字山川225
価格:1,500,000円

REGISTED on 2020/11/30

No.123 売却
琴浦町大字琴浦町大字赤碕1920番地180
価格:6,800,000円

REGISTED on 2019/12/18

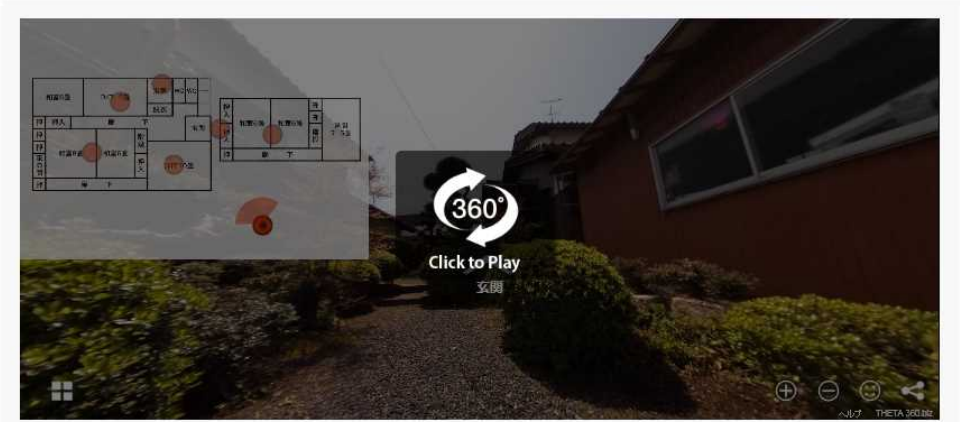
No.109 売却
琴浦町大字逢東647
価格:4,800,000円

琴浦町への移住・定住に関するご質問・ご相談は、
琴浦町役場 企画政策課までお問い合わせください。
〒689-2392 鳥取県東伯郡琴浦町逢万 591-2 琴浦町役場 企画政策課

TEL 0858-52-1708

その他移住に関する支援はこちら >

物件写真



物件概要

登録目的	売却 (価格:6,800,000円)
建築年	1981年
面積	
土地	338.81m^2
建物	1階　119.76m^2
	2階　53.28m^2
補修の要否	補修不要
間取り図	間取り図 7DK

所在地	琴浦町大字琴浦町大字赤碕1920番地180 緯度: 35.512752 経度: 133.632233 場所を見る
利用状況	放置(1年)
構造	木造
補修の費用負担	入居者負担

設備状況

電力	引き込み済
水道	上水道
風呂	電気
車庫	有り
物置	無し
ペット	可
その他	

ガス	プロパン
下水道	下水道
トイレ	水洗 - 洋式
庭	有り
農地	無し

主要施設等への距離

JR駅	0.20km	バス停	0.20km
消防署	4.50km	警察	0.40km
小学校	1.70km	中学校	0.50km

町役場	0.80km	病院	0.40km
避難場所	0.20km	保育園	1.10km
公園	1.90km	スーパー	0.60km

校区・その他

小学校区	赤碕小学校
家に接している道路	町道
路線名	JR山陰本線赤碕駅

中学校区	赤碕中学校
道路の幅員	5.5

空き家情報登録の流れ

《空き家を売りたい方・貸したい方》

相談

役場企画政策課へ
ご連絡ください。

現地調査

役場職員と所有者様、
不動産業者が
調査します。

媒介契約

不動産業者と
媒介契約をします。

※契約上のトラブルを防ぐため、
媒介契約を推奨しています。

登録

『空き家ナビ』等
ホームページで
空き家情報を公開

交渉

空き家を買いたい方・
借りたい方をご紹介

空き家情報登録の3つのメリット

メリット1 宣伝が楽！

琴浦町のホームページ等で物件情報を公開したり移住相談者に物件を紹介するので、個人で宣伝するよりも手間がかかりません。

メリット2 地域の活性化に貢献

地域に空き家が多くなると、防犯・防災上の問題や集落の景観悪化の問題が心配されます。また、地域に人が移り住むことで、活性化に繋がります。

メリット3 資産の維持

家は人が住まなくなると、
あっという間に老朽化が進みます。
家屋の維持のためにも、維持・管理
していただくという気持ちで
貸し出してみてはいかがでしょうか？

事業番号２

2021 年度

事業シート（概要説明書）

事 業 名	介護予防普及啓発事業	事業開始年度	平成16年
上位施策事業名	介護予防教室	担 当 課	すこやか健康課
根拠法令等	琴浦町介護予防教室実施要綱	係 名	高齢福祉係
事務区分	■自治事務　□法定受託事務	作成責任者	大倉　美紀

実施の背景	介護が必要となった原因の第一位となっており、琴浦町でも平成30年度介護保険新規申請者287名中、79名が認知症である。認知症を早期発見し、早期対応することで認知症の進行抑制や発症予防ができる。また、軽度認知障害の方が認知症にへと進まないよう重度化予防が必要である。
目 的（何をどうしたいのか）	介護が必要となる原因である認知症、転倒、閉じこもりなどを予防する活動を提供し、高齢者が要介護状態にならずに健康で生き生きとした老後を過ごせること。 ・介護保険認定率の現状維持 ・健康寿命日本一

事業概要

対 象（誰・何を対象に）	65歳以上の高齢者かつ介護保険認定を受けていない人	対象者数（全住民に対する割合）	5,137 人（ 30.6 % ）
実施方法	□直接実施		
	■業務委託 又は □指定管理（委託先又は指定管理者：(社)赤碕福祉会、(社)立石会　）		
	□補助金〔直接・間接〕（補助先：　実施主体：　）		
	□貸付（貸付先：　）□その他（　）		

事業内容（手段、手法など）

事業内容（箇条書き）	事業費	活動指標
【介護予防教室はればれ】 頭の体操(音読・計算）、わくわく琴浦体操、レクリエーション	8,311 千円	月４回
【介護予防教室いきがい】 頭の体操(音読・計算）、わくわく琴浦体操、レクリエーション	1,869 千円	月２回
【もの忘れ相談・評価の会】 タッチパネル検査の結果を基に、専門医が指導助言を行う。	80 千円	年４回
【委託事業所との担当者会】 各教室の報告、教材の確認、情報共有	0 千円	月１回

関連事業（同一目的事業等）	健康教室、まちの保健室、地域交流カフェ、介護予防サークル、高齢者クラブ

コスト

	2021 年度（予算）	2020 年度(決算)	2019 年度(決算)	2018 年度(決算)
事業費合計	10,341 千円	9,051 千円	9,119 千円	9,737 千円
事業費内訳（2021年度分）	・物忘れ相談・評価の会　医師報奨金　20,000円×4回＝80,000円 ・消耗品　17,000円 ・タッチパネル修繕費　50,000円 ・町検診タッチパネル２次案内通知　84円×150人＝12,600円 ・介護予防教室委託料　10,180,008円 介護予防教室はればれ　2,037円×85人×4回×12月＝8,310,960円 介護予防教室いきがい　1,527円×51人×2回×12月＝1,869,048円			

人件費	2021 年度（予算）		2020 年度(決算)		2019 年度(決算)		2018 年度(決算)	
担当正職員	0.1 人	654 千円	0.1 人	654 千円	0.1 人	654 千円	0.1 人	668 千円
臨時職員等	人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
人件費合計	0.1 人	654 千円	0.1 人	654 千円	0.1 人	654 千円	0.1 人	668 千円
総事業費	10,995 千円		9,705 千円		9,773 千円		10,405 千円	

財源内訳

	2021 年度（予算）	2020 年度(決算)	2019 年度(決算)	2018 年度(決算)
国県支出金	6,448 千円	5,695 千円	5,743 千円	6,099 千円
国県支出金の内容	国庫交付金、県交付金、支払基金			
地方債	千円	千円	千円	千円
利用料	999 千円	875 千円	871 千円	948 千円
介護保険料	2,298 千円	2,031 千円	2,046 千円	2,176 千円
町の負担	1,250 千円	1,104 千円	1,113 千円	1,182 千円
財源合計	10,995 千円	9,705 千円	9,773 千円	10,405 千円

事業番号２

2021 年度

事業シート（概要説明書）

事 業 名	介護予防普及啓発事業	事業開始年度	平成16年

		【活動指標名】（実績値/目標値）	単位	2020 年度	2019 年度	2018 年度
事業実績	活動実績	介護予防教室はればれ(月４回)９会場	延人	1,028/	1,022/	1,099/
		介護予防教室いきがい(月２回)６会場	延人	503/	549/	630/
		介護予防教室はればれ(月４回)９会場	実人	92/	94/	104/
		介護予防教室いきがい(月２回)６会場	実人	47/	53/	60/
	単位当たりコスト	総事業費　／　参加延人数	円	6.339	6.221	6.018

事業成果	成果目標（指標設定理由等）	利用者が現在の生活を維持している成果として、介護認定率の維持を成果目標とする。 ・介護認定率の維持 ・介護を要する期間を0.5年短縮（男性2.1年→1.6年　女性4.4年→3.9年）

		【成果指標名】（実績値/目標値）	単位	2020 年度	2019 年度	2018 年度
事業成果	成果（目標達成状況）	介護認定率（年度末実績）	%	15.8	15.7	16.1
		介護を要する期間（男性）	年	2.0/1.6	2.1/	2.3/
		介護を要する期間（女性）	年	4.4/3.9	4.4/	4.5/

事業の自己評価（今後の事業の方向性、課題等）

【自己評価】
・介護予防教室、地域で自主的に行っているサークル活動等に参加することで、高齢者の自立支援を促し介護保険認定率はほぼ横ばいを保っている。
・介護予防教室で行っているわくわく琴浦体操を週１回行うことで「運動機能」と「うつ傾向」で改善傾向が見られ、体力年齢4.8歳の向上が見られた。（H29鳥取大学地域貢献支援事業で検証）

【現状と課題】
①高齢になればなるほど、認知機能の低下や下肢筋力低下が進み、介護保険移行となるケースが増えている。
②新規参加者少なく、新たな参加者を呼び込む活動が十分に行えていない。
③教室参加者の約9割が女性であり、男性の参加が非常に少ない。
④新規参加者の掘り起こし、呼び込み対策
⑤男性が参加したいと思う魅力的な教室運営の検討
⑥運動機能低下を予防するための取り組みが必要と考える。

【今後の事業の方向性】
来年度以降実施を検討（案）
①運動をメインとしたリハビリ教室の開催
②歩いて行ける範囲に運動機能維持の体操教室など集いの場の立ち上げ
③予防教室での運動の強化

比較参考値（他自治体での類似事業の例など）

倉吉市　登録者数:194名　実人数:2682名　開催回数:258回（13地区、2回/月）
予算:3,660,912円（152,438円×12ヶ月×2名）
内容:「なごもう会」。介護予防体操、ゲーム、口腔等の話。

三朝町　登録者数:10名　実人数:147名　開催回数:24回
予算:192,000円（作業療法士への講師料8,000円×24回）
内容:「脳いきいき教室」とっとり方式。直営。
毎回作業療法士と包括職員が対応。

湯梨浜町　参加人数:登録者数:15名　実人数220名　開催回数:24回
予算:672,000円（1回開催28,400円×24）
内容:「脳活トレーニング教室」とっとり方式。2施設に委託。

北栄町　参加人数:登録者数:22名　実人数408名　開催回数:48回
予算:1,100,000円　内容:「脳活クラブ」とっとり方式。1施設に委託。

特記事項

委託先シート			2021　年度
委託内容	委託先	委託金額	事業者選定方法
介護予防教室委託料（はればれ月４回）	（社）赤碕福祉会 （社）立石会	8,310 千円	
介護予防教室委託料（はればれ月２回）	（社）赤碕福祉会 （社）立石会	1,869 千円	
		千円	
		千円	
		千円	
		千円	
		千円	
		千円	

事業番号2

2021 年度

委託・指定管理・補助　対象団体シート（概要説明書）

予算事業名	介護予防普及啓発事業	事業開始年度	H16
団体名	社会福祉法人　立石会		
団体への支出根拠（選定経過等、支出先の妥当性）	高齢福祉事業を町内で実施してる団体であり、スキルや体制等が整っている。		

当該事業の団体における収支状況

収入		支出	
国からの財政支出金	千円		千円
県からの財政支出金	千円		千円
市町村からの財政支出金	千円		千円
委託料・指定管理料	千円		千円
補助金	千円		千円
その他	千円		千円
その他　（　　）	千円		千円
総計	0　千円	総計	0　千円

※委託料は設計ベースのため、収入と一致しない場合あり。

団体概要

平成2年7月設立

【事業内容】
特別養護老人ホーム、経費老人ホーム短期入所、デイサービス、通所介護事業、居宅介護事業、介護予防事業

資本金	千円	役職員	（単位：人）	常勤	うち（出向／OB）	非常勤	うち（出向／OB）	監事	うち（出向／OB）
市出資金	千円		役員						
出資比率	%		職員	130					

特記事項

委託料は利用実績に応じ支払っている。

事業番号2

2021 年度

委託・指定管理・補助　対象団体シート（概要説明書）

予算事業名	介護予防普及啓発事業	事業開始年度	H16
団体名	社会福祉法人　赤碕福祉会		
団体への支出根拠（選定経過等、支出先の妥当性）	高齢福祉事業を町内で実施してる団体であり、スキルや体制等が整っている。		

当該事業の団体における収支状況

収入		支出	
国からの財政支出金	千円		千円
県からの財政支出金	千円		千円
市町村からの財政支出金	千円		千円
委託料・指定管理料	千円		千円
補助金	千円		千円
その他	千円		千円
その他　（　　）	千円		千円
総計	0　千円	総計	0　千円

※委託料は設計ベースのため、収入と一致しない場合あり。

団体概要

平成3年7月設立

【事業内容】
特別養護老人ホーム、短期入所、デイサービス、認知症対応型共同生活介護、ホームヘルパー、配食サービス、居宅介護事業、介護予防事業

資本金		千円	役職員	（単位：人）	常勤	うち（出向／OB）	非常勤	うち（出向／OB）	監事	うち（出向／OB）
	市出資金	千円		役員						
	出資比率	%		職員	140					

特記事項

委託料は利用実績に応じ支払っている。

琴浦町の高齢者の健康づくりに関する事業

R3．11．27　事業レビュー

年齢

75

65

40

フレイル対策

フレイルとは、
高齢者の栄養状態、
筋力の低下により心身ともに
虚弱となった状態のこと

運動

栄養・口腔機能

地域参加

疾病予防・重症化予防

介護予防教室

町内15会場で実施

高齢者クラブ

11クラブ

24人以上で助成
地域貢献を目的に活動

介護予防サークル

96サークル

5人以上で週に1回以上の活動
介護認定者も優先的に参加

地域交流カフェ

4ヵ所

まちの保健室

4ヵ所

いきいきサロン

20ヵ所

健康教室

30回

介護度

要支援　要介護

介護予防教室利用の流れ

【きっかけ】

●もの忘れ相談に参加→認知症専門医からの利用勧奨

●本人・家族・医療機関・地域住民・民生委員等からの紹介

【一次検査：もの忘れ相談プログラム】

●アルツハイマー型認知症を早期に発見することを目的とした検査
　検査時間：５分　１５問

●タッチパネルを使用し、音声に従って簡単な質問に回答する

●１５点満点で１３点以下の人を対象に二次検査（ＴＤＡＳ検査）を行う

【二次検査：ＴＤＡＳ（ティーダス）検査】

●２０分程度　１０１問

不正解数	6問以下	正常範囲（いきがいへ）
	7問～13問	予防教室へ（はればれへ）
	14問以上	専門医療機関への紹介

●検査終了後、専門医による診察を受け、介護予防教室の参加勧奨と
　専門医療機関への紹介状を交付

【介護予防教室】

●はればれ：月４回

●いきがい：月２回

【評価の会】

ＴＤＡＳ検査を実施

●はればれ教室（年2回）

●きがい教室（年1回）

＊専門医の診察とＴＤＡＳ検査の結果で
教室の移動がある

介護予防教室（はればれ・いきがい）

≪教室内容≫

①健康チェック：血圧・体温測定

②頭の体操：音読・計算・暗記
（全ての教室で同じ教材を使用）

③転倒予防：わくわく琴浦体操・
リハビリ専門職による体操指導

④口腔体操

⑤レクリエーション活動

⑥昼食の提供（５箇所）

⑦評価の会：はればれ年２回
いきがい年1回

クワバラクワバラ

むかし、桑原の天神さまの境内に立っていたウメの大木に、子どものかみなりが落ちて来て、その木をまっぷたつにさいてしまいました。

ちょうどそこを、桑原の近郷近在を治めていた桑原左近将監さまという剣術の師匠がとおりかかりました。

「天神さまのたいせつなウメの木に、ふらちをはたらいたやつはだれだあ。」

将監さまは大きな声でどなりながらあ

≪計算1≫

月　　日

9－8＝	3＋0＝	8×5＝	11－9＝
7×6＝	6－5＝	9×7＝	6＋8＝
16－9＝	3×8＝	5＋2＝	8＋5＝
4×5＝	9×4＝	10－4＝	7×5＝
5＋2＝	12－8＝	2＋4＝	3－3＝

五十音（ごじゅうおん）　北原白秋（きたはらはくしゅう）

① アメンボ赤（あか）いな、ア、イ、ウ、エ、オ　浮（う）き藻（も）に小（こ）えびもおよいでる。

② 柿（かき）の木（き）、栗（くり）の木（き）、カ、キ、ク、ケ、コ　啄木鳥（きつつき）こつこつ、枯（か）れケヤキ。

③ 大角豆（さささげ）に酢（す）をかけ、サ、シ、ス、セ、ソ　その魚（うお）　浅瀬（あさせ）で刺（さ）しました。

④ 立（た）ちましょラッパで、タ、チ、ツ、テ、ト　トテトテタッタと飛（と）び立（た）った。

⑤ ナメクジのろのろ、ナ、ニ、ヌ、ネ、ノ　納戸（なんど）にぬめって、なにねばる。

⑥ 鳩（はと）ぽっぽ、ほろほろ、ハ、ヒ、フ、ヘ、ホ　日向（ひむかい）のお部屋（へや）にゃ笛（ふえ）を吹（ふ）く。

⑦ 蝸牛（まいまい）ねじ巻（ま）き、マ、ミ、ム、メ、モ　梅（うめ）の実（み）落（お）ちても見（み）もしまい。

⑧ 焼（やき）き栗（ぐり）、ゆで栗（ぐり）、ヤ、イ、ユ、エ、ヨ　山田（やまだ）に灯（ひ）のつく宵（よい）の家（いえ）。

⑨ 雷鳥寒（らいちょうさむ）かろ、ラ、リ、ル、レ、ロ　蓮華（れんげ）が咲（さ）いたら、瑠璃（るり）の鳥（とり）。

⑩ わいわい、わっしょい。ワ、イ、ウ、エ、ヲ　植木屋（うえきや）、井戸（いど）換（が）え、お祭（まつ）りだ。

暗　記　絵

さんま
オニヤンマ
稲刈り
そろばん
バイオリン
サイコロ
魚つり
もみじ
おまもり
お守り

ストーブ
七五三
セーター
いちょう
えのき
だけ
バーベキュー
マフラー
かき
くま

お口の健康を大切に！

食事をおいしく、しっかり食べるためには、口腔機能を維持、改善していくことが大切です。食事の前に口腔体操を取り入れてみましょう。

唾液の分泌を促進
口の筋肉を鍛える

→ 誤嚥防止！
消化を促進！

だ液の分泌をよくする顔のマッサージ

耳下腺を刺激

親指を除く４本の指をほおにあて、上の奥歯に沿わせる要領で後方から前方に回す（10 回）

顎下腺を刺激

耳の下からあごの下まで５か所くらいに分け、順番に親指で押す（10 回）

舌下腺を刺激

両手の親指をそろえ、あごの下から突き上げるようにゆっくりと押す（10 回）

飲み込む力を高める口の体操　パタカラ体操♪

唇を破裂させるように

舌の先を歯切れよく

舌の奥をのどに押しつけるように

舌の先をくるくるまわして

①「パ」「タ」「カ」「ラ」をそれぞれ５回ずつ大きな声でハッキリと発音します。
②「パタカラ」を続けて５回発音します。

（イラスト：地域おこし協力隊 久和温実）

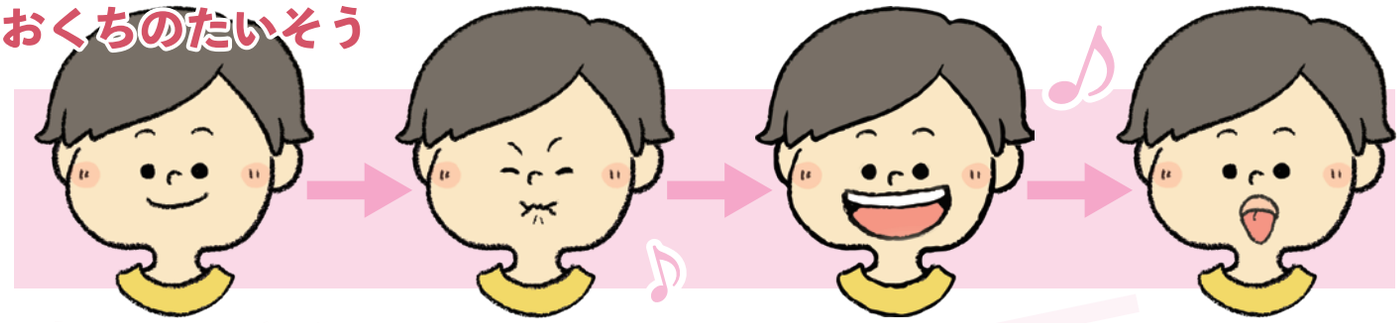
健口体操（けんこうたいそう）

『むすんで ひらいて』のメロディーに合わせて★

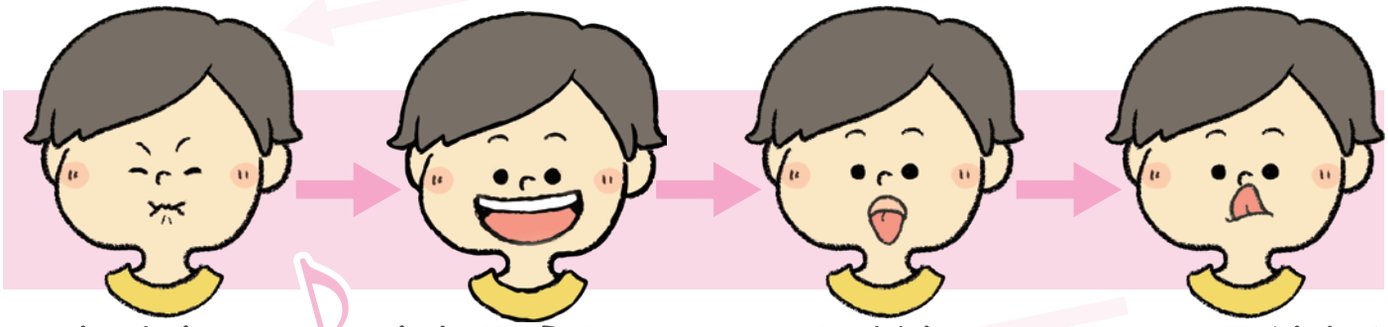
楽しく美味しく食べるための準備体操です！

効果
①だ液がよく出る　②舌がなめらかに動いて飲み込みやすくなる
③お顔の表情もよくなる

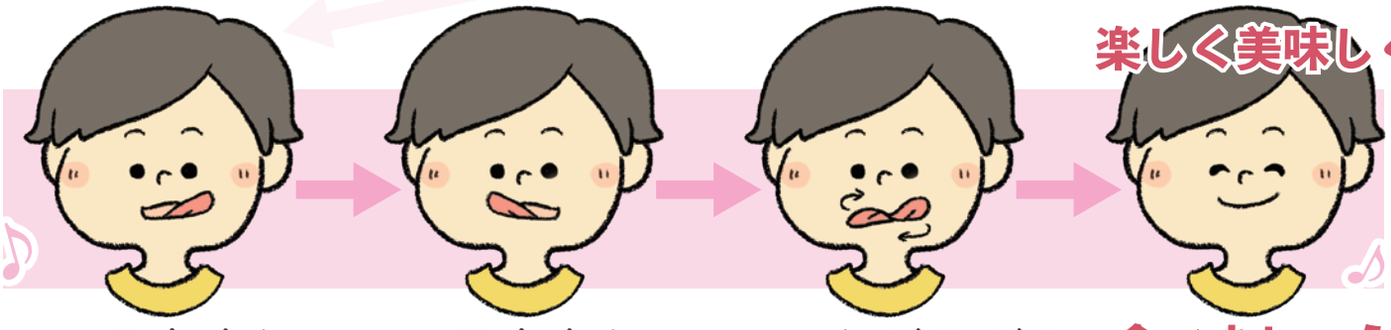
おくちのたいそう



いち・にい・さんっ　むすんで　ひらいて　ベロだして



むすんで　またひらいて　ベロだして　そのベロはなに



ベロを右に　ベロを左に　ベロをグルグルまわします　楽しく美味しく食べましょう

口腔体操や食後の歯磨き、定期的に歯科健診を受けて、お口の健康を保ちましょう！

事業番号 3

2021 年度

事業シート（概要説明書）

事 業 名	放課後児童クラブ	事業開始年度	
上位施策事業名	放課後児童健全育成事業	担 当 課	子育て応援課
根拠法令等	琴浦町放課後児童クラブ条例 琴浦町放課後児童クラブ規則 琴浦町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	係 名	こども未来係
事務区分	■自治事務　□法定受託事務	作成責任者	定常 考浩

実施の背景

○放課後児童クラブ（学童保育）の成り立ち

放課後児童クラブは、もともと保護者の保育に欠ける児童を安全に見守る場として、1940年代ごろから、「学童保育」として保護者会やNPO団体が中心となり、自発的に生まれた活動ないし組織であった。それらが共働き世帯や核家族の増加など、社会情勢の変化に伴い、平成3年に「放課後児童対策事業実施要綱」が制定され、全国的な事業へと変化してきた。

○琴浦町の場合

琴浦町においても放課後児童の預かりニーズが高まってきていたことを受け、旧赤碕町では平成8年に私立保育園による民設民営の放課後児童クラブが設立された。

その後、平成13～15年にかけて、4つの公立放課後児童クラブが開設された。

また長期休業期間のみの利用ニーズもあり、令和2年度にモデルケースとして「長期休業期間児童クラブ」を実施した。

目 的（何をどうしたいのか）

○放課後児童の健全な育成

保護者の帰宅・迎えまでの間の児童の健康管理、安全確保はもとより、他の児童との集団生活や遊びを通じ、自主性や社会性、創造性を培う。

例：ドッヂボールなどスポーツを通してルールを守ることの大切さを学ぶ。
　　折り紙や工作など、年齢に応じたレベルの作品を作れるようにする。

○保護者への保育支援

平日は放課後から18時30分まで、土曜日は午前８時から18時30分までの利用時間を設け、保護者が安心して働ける環境をつくる。

事業概要

対 象（誰・何を対象に）

就労等のため保護者が不在となる家庭の児童

対象者数（全住民に対する割合）	
200 人	（ 1.2 % ）

実施方法

■直接実施

	小学校区	運営	場所	定員
東伯地区	浦安小学校区	琴浦町	アエル(浦安小学校隣)	70
	八橋小学校区	琴浦町	八橋小学校内	50
	聖郷小学校区	琴浦町	聖郷小学校内	40
赤碕地区	船上小学校区	琴浦町	赤碕文化センター	40

□業務委託 又は □指定管理　（委託先又は指定管理者：　　）

■補助金〔直接・間接〕（補助先：しおかぜクラブ　実施主体：赤碕保育園　）

	小学校区	運営	場所	定員
赤碕地区	赤碕小学校区	私 立	赤碕保育園(しおかぜクラブ)	40

□貸付（貸付先：　　）□その他（　　）

事業内容（手段、手法など）

事業内容（箇条書き）	事業費	活動指標
公立放課後児童クラブ運営費 ・放課後～18時半までの学童保育 （人件費、消耗品費、修繕費、燃料費など） （国の基準額に対し国県町1/3ずつ負担）	30,192 千円	1月の最大利用児童数 （定員190人）
琴浦町放課後児童健全育成事業費補助金（しおかぜクラブ補助金） ・民営の放課後児童クラブに対する補助金 （国の基準額に対し国県町1/3ずつ負担）	5,817 千円	1月の最大利用児童数 （定員40人）
学習支援事業 ・学習支援員（教員OB等）による学習指導 （費用の1/2を県が負担）	1,117 千円	1月の最大利用児童数 （定員70人）
多世代交流施設（アエル）維持管理費 ・施設修繕及び維持管理 （放課後児童クラブ占有部分については国県町で1/3ずつ負担、共有部分については面積比を乗した部分を補助対象とし、国県町で1/3ずつ負担）	1,415 千円	施設利用状況 （利用団体数）

関連事業（同一目的事業等）

・放課後子ども教室　・ファミリーサポートセンター
・児童館事業

事業番号 3　　**2021 年度**

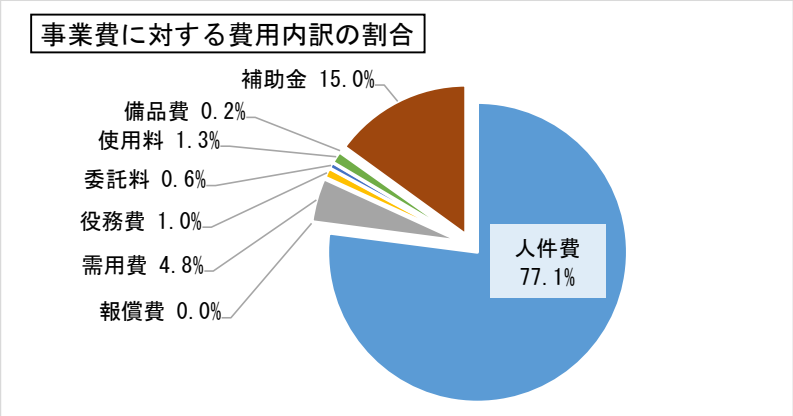
事業シート（概要説明書）

事 業 名	放課後児童クラブ	事業開始年度	

コスト		2021 年度（予算）	2020 年度(決算)	2019 年度(決算)	2018 年度(決算)
事業費	事業費合計	38,757 千円	36,537 千円	31,053 千円	30,136 千円

事業費内訳（2021年度分）

○人件費　・報酬　25,613千円　・職員手当　3,718千円　・費用弁償　533千円
○報償費　・報償金　12千円
○需用費　・消耗品費　482千円　・燃料費　109千円
　・光熱水費　946千円　・修繕費　305千円
○役務費　・通信運搬費　120千円　・手数料　245千円　・火災保険料　39千円
○委託料　・委託料　248千円
○使用料　・下水使用料　274千円　・賃借料　230千円
○備品費　・施設備品　66千円
○補助金　・放課後健全育成補助金　5,817千円



人件費								
担当正職員	0.6 人	3,926 千円	0.5 人	3,272 千円	0.5 人	3,269 千円	0.6 人	4,005 千円
臨時職員等	0 人	0 千円	0.1 人	178 千円	0.1 人	178 千円	0 人	0 千円
人件費合計	**0.6 人**	**3,926 千円**	**0.6 人**	**3,450 千円**	**0.6 人**	**3,447 千円**	**0.6 人**	**4,005 千円**
総事業費		**42,683 千円**		**39,987 千円**		**34,500 千円**		**34,141 千円**

財源内訳					
国県支出金	24,768 千円	18,788 千円	15,604 千円	15,204 千円
	国県支出金の内容	（国・県）子ども・子育て支援交付金		
地方債	千円	千円	千円	千円
その他特財	5,145 千円	4,624 千円	4,566 千円	4,688 千円
	その他特財の内容	放課後児童クラブ利用料		
一般財源	23,060 千円	25,823 千円	14,330 千円	14,249 千円
財源合計	**42,683 千円**	**39,987 千円**	**34,500 千円**	**34,141 千円**

事業実績	【活動指標名】（実績値/目標値）	単位	2020 年度	2019 年度	2018 年度
活動実績	公立放課後児童クラブ運営費（最大登録児童数/定員数）	人	175/190	177/190	181/190
	琴浦町放課後児童健全育成事業費補助金（しおかぜクラブ補助金）（最大登録児童数/定員数）	人	40/40	40/40	40/40
	学習支援事業（浦安放課後児童クラブ最大登録児童数/定員数）	人	0/70	64/70	62/70
	多世代交流施設維持管理費（児童クラブを除く施設利用団体数）	団体	3	3	3
単位当たりコスト	総事業費 ／ 総放課後児童クラブ数	千円	7,997	6,900	6,828

事業成果					
成果目標（指標設定理由等）	・利用者満足度の向上（令和２年から児童、保護者に対し実施。それ以前は子ども・子育て支援に関するニーズ調査などで不満点等の聞き取りを行っていた。）				
成果（目標達成状況）	【成果指標名】（実績値/目標値）	単位	2020 年度	2019 年度	2018 年度
	児童へのアンケート調査における「あなたは児童クラブに来ることが好きですか。」（「普通」以上の回答率）	%	90.3%	/	/
	保護へのアンケート調査における満足度（「普通」以上の回答率）	%	90.0%	/	/

事業番号 ３

2021 年度

事業シート（概要説明書）

事 業 名	放課後児童クラブ	事業開始年度	

事業の自己評価（今後の事業の方向性、課題等）

・平日の放課後に保護者が家にいない児童の見守りについては、概ね解決できている。
・一方、休日や長期休業中の早朝からの預かり希望や、児童の利用条件緩和希望に対する要望の声がある。
・特に長期休業期間の預かりニーズがあり、令和２年度に実施した長期休業期間児童クラブは非常に好評であった。
・国の示す「新放課後子ども総合プラン」では、待機児童の解消にのみならず、放課後子供教室との一体化など、より多彩な取り組みの実施を求められているが、現状の琴浦町の体制では実施が難しい。また、そういった取り組みに対するニーズは現状出ていない。
・支援員らの高齢化や、なり手不足もあり、今後現在の体制や保育水準を維持できるか不透明。（平均年齢52歳、中央値57歳）
・指導員らの中にリーダーが不在であり、また担当課職員も数年で異動するため、指導する立場の存在となり、現場を統括できる者が不在である。

○令和3年度の各クラブの定員数に対する職員配置状況

クラブ名	定員	平日の職員配置数	備考	登録職員数※	うち支援員数※
浦安放課後児童クラブ	70	7～8	支援の必要な児童が多いため、R３から１～２名増員体制	15	7
八橋放課後児童クラブ	50	6	R3から１部屋増設（別フロア）したため、３→６へ増員	12	5
聖郷放課後児童クラブ	40	4		11	5
船上放課後児童クラブ	40	3～4		9	3

※登録職員数…シフト制のため、代替や、長期休業期間のみ働いていただく職員を含む
※国の示す運営基準では、1クラブ（単位）あたり児童数40名程度までとし、最低2名以上の職員を配置することが義務づけられている（うち1名は支援員資格研修を修了した者）
※令和3年度に資格取得予定者を含む

○琴浦町の公立放課後児童クラブの利用料について

（１）通年利用する場合の利用料

（円）

	月額（８月を除く）	８月の利用料
平日のみの利用の場合	2,000	4,000
土曜日も利用する場合	2,500	4,500

（２）長期休業期間中のみ利用する場合の利用料

（円）

利用期間	利用料
夏休み	6,000
冬休み	1,500
春休み（３月）	1,500
春休み（４月）	1,500

比較参考値（他自治体での類似事業の例など）

・北栄町…令和２年度全クラブ（２箇所）から民間に事業委託
令和２年度満足度調査：満足・やや満足合計100%

○放課後児童クラブの平均月額利用料

	クラブ総数	利用料を取っていないクラブ数	利用料を取っているクラブ数	利用料を取っているクラブのうち、その平均月額利用料					
				2,000円未満	2,000円～4,000円未満	4,000円～6,000円未満	6,000円～8,000円未満	8,000円～10,000円未満	10,000円以上
全国	23,137	1,546	21,591	565	4,644	6,667	4,546	2,500	2,669
（率）	（100.0）	（6.7）	（93.3）	（2.6）	（21.5）	**（30.9）**	（21.1）	（11.6）	（12.4）
鳥取県	162	0	162	9	91	40	7	3	12
（率）	（100.0）	（0.0）	（100.0）	（5.6）	**（56.2）**	（24.7）	（4.3）	（1.9）	（7.4）

特記事項

事業番号 3

2021 年度

委託・指定管理・補助　対象団体シート（概要説明書）

予算事業名	放課後児童健全育成事業（琴浦町放課後児童健全育成事業費補助金）	事業開始年度	平成８年
団体名	社会福祉法人　赤碕保育園		
団体への支出根拠（選定経過等、支出先の妥当性）	・根拠要綱：琴浦町放課後児童健全育成事業費補助金交付要綱 子ども・子育て支援法 「子ども・子育て支援法」の規定で、市町村は子ども・子育て支援事業計画を策定することになっている。そしてその計画に基づき実施される放課後児童健全育成事業は交付金の対象となっている。 町では、事業を実施する赤碕保育園に補助金を交付し、児童の健全育成に努めている。		

当該事業の団体における収支状況

収入		支出	
国からの財政支出金	千円	人件費	4,600 千円
県からの財政支出金	千円	運営費	3,244 千円
市町村からの財政支出金	5,817 千円		千円
委託料・指定管理料	千円		千円
補助金	5,817 千円		千円
その他	千円		千円
その他　（ しおかぜクラブ利用料他 ）	2,027 千円		千円
総計	**7,844 千円**	**総計**	**7,844 千円**

※委託料は設計ベースのため、収入と一致しない場合あり。

団体概要

【主な事業】
①赤碕こども園（住所：琴浦町赤碕1867-8）
②放課後児童クラブ「しおかぜクラブ」（住所：琴浦町赤碕1500-2）
③子育て支援センター「アトリエ　ラボ」（住所：琴浦町赤碕1867-8）

【沿革】
昭和11年～　常設保育所「和光託児園」創設
昭和15年～　「赤碕保育園」と改称
平成 7年～　新園舎完成
平成 8年～　旧赤碕保育園園舎で放課後児童クラブ「しおかぜクラブ」を開設
平成21年～　子育て支援センター「アトリエ・ラボ」を開設
平成28年～　赤碕保育園を廃止し、幼保連携型認定こども園「赤碕こども園」を開始

資本金	千円	役職員	（単位：人）	常勤	うち（出向／OB）	非常勤	うち（出向／OB）	監事	うち（出向／OB）
市出資金	千円		役員	2					
出資比率	%		職員	36					

特記事項

単位と指導員数の配置基準

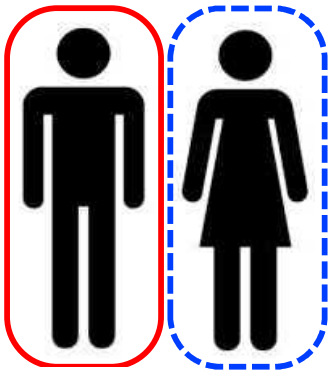
放課後児童クラブ
追加資料

放課後児童健全育成事業の設置及び運営に関する基準　第１０条

１単位※あたり児童
おおむね４０人以下

※クラスないし活動単位

１単位に２人以上の指導員（職員）



うち１名は有資格者を置かなければならない。（放課後児童支援員）

指導員
- 支援員（有資格者）
  保育士や社会福祉士、教員の資格や関係学部を卒業している者、もしくは児童クラブ等で2,000時間以上勤務した者で、都道府県の主催する研修（全24時間）を修了した者
- 支援員を補助する者

1単位に指導員を最低２人（うち1人は有資格者）を配置しなければならない

放課後児童支援員の役割及び職務と補助員との関係

厚生労働省ホームページから抜粋

○「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準」（平成26年厚生労働省令第63号。以下「基準」という。）第10条に規定されている「放課後児童支援員」と「補助員（放課後児童支援員が行う支援について放課後児童支援員を補助する者）」の役割及び職務については、現行の放課後児童クラブガイドラインを踏まえるとともに、新たな基準に基づく支援の内容に応じて整理する必要があると考えられる。なお、基準等に記載されている役割や職務等の内容については、以下のとおりである。

現行の放課後児童クラブガイドライン（抄）

【前文（抄）】
「放課後児童クラブ」は、保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校等に通う子どもたちに、遊びや生活の場を提供し、その健全な育成を図る事業であり、女性の就労の増加や少子化が進行する中、仕事と子育ての両立支援、児童の健全育成対策として重要な役割を担っているところである。

○　放課後児童指導員の役割
① 子どもの人権の尊重と子どもの個人差への配慮
② 体罰等、子どもに身体的・精神的苦痛を与える行為の禁止
③ 保護者との対応・信頼関係の構築
④ 個人情報の慎重な取扱いとプライバシーの保護
⑤ 放課後児童指導員としての資質の向上
⑥ 事業の公共性の維持

補助員は、支援員の指導のもと、これら活動の補助・補佐を行う。

○　放課後児童指導員の活動内容
① 子どもの健康管理、出席確認をはじめとした安全の確保、情緒の安定を図ること。
② 遊びを通しての自主性、社会性、創造性を培うこと。
③ 子どもが宿題・自習等の学習活動を自主的に行える環境を整え、必要な援助を行うこと。
④ 基本的生活習慣についての援助、自立に向けた手助けを行うとともに、その力を身につけさせること。
⑤ 活動状況について家庭との日常的な連絡、情報交換を行うとともに、家庭や地域での遊びの環境づくりへの支援を行うこと。
⑥ 児童虐待の早期発見に努め、児童虐待等により福祉的介入が必要とされるケースについては、市町村等が設置する要保護児童対策地域協議会等を活用しながら、児童相談所や保健所等の関係機関と連携して対応を図ること。
⑦ その他放課後における子どもの健全育成上必要な活動を行うこと。

「遊び」を指導することの難しさ

① 支援員が子どもの頃にやった「ケイドロ（鬼ごっこの一種）」を１５人程度の子どもたちに声をかけて３０分程度行った。しかし、その活動が終わったあとに１人の子どもが「先生、もう遊んでいい？」と尋ねてきた。この子にとって、さっきまでの「ケイドロ」は遊びになっていなかったようです。

放課後児童支援員認定資格研修から引用

② 子どもたちが「鳥かごゲーム」（３人程度でボールを回し、鬼になった１人がそれをカットできたら鬼を交代する遊び）をしていた。低学年なこともあり、力いっぱい投げてしまい、うまくパスが繋がらない。

力加減を意識させる目的で、支援員が「パスミスしたら鬼を交代しよう」とルールを追加した。しかし、しばらくすると「つまらなくなったから、辞める」と児童が遊びから抜けてしまいました。

一般的な遊びでも、その子にとっての「遊び」になるとは限らない。

3

事業番号 4

2021 年度

事業シート（概要説明書）

事 業 名	社会教育振興	事業開始年度	
上位施策事業名	総合計画、第2期まち・ひと・くらし創生戦略	担当局・部名	社会教育課
根拠法令等	教育基本法、社会教育法	担当課･係名	生涯学習係
事務区分	■自治事務　□法定受託事務	作成責任者	石田

実施の背景	町民一人ひとりが生涯を通して学ぶことのできる環境の整備、多様な学習機会の提供、学習した成果が活かされるしくみづくりが求められている。
目　的（何をどうしたいのか）	生涯学習の推進体制を整備し、町民一人ひとりが生涯を通じて学べる環境をつくり、学びの成果が社会に活かされることを目的とする。

事業概要

対　象（誰・何を対象に）	町民全体および社会教育関係活動団体	対象者数（全住民に対する割合）	16,789 人（ 100 % ）
実施方法	■直接実施		
	□業務委託 又は □指定管理　（委託先又は指定管理者：　）		
	■補助金〔直接・間接〕（補助先：地域の団体　実施主体：地域の団体 ）		
	□貸付（貸付先：　）□その他（　）		

事業内容（手段、手法など） 事業内容（箇条書き）	事業費	活動指標
社会教育委員会の開催	40 千円	社会教育委員会開催
社会教育関係団体補助（4団体）	532 千円	活動する社会教育関係団体数
所属する社会教育関係団体への負担（体制の充実：関係職員等の研修参加）	168 千円	研修会参加
青少年育成啓発事業	128 千円	実施回数
次世代ことうらっ子育み推進事業（子供会リーダー研修、子どもパーク、こども塾、放課後子ども教室、家庭教育講座）	1,835 千円	実施回数
寿大学	0 千円	実施回数

関連事業（同一目的事業等）	地区公民館教養講座

コスト

	2021 年度（予算）	2020 年度(決算)	2019 年度(決算)	2018 年度(決算)
事業費合計	2,703 千円	3,301 千円	3,878 千円	3,938 千円

事業費内訳（2021年度分）

社会教育委員報酬　40千円、各種協議会負担金　168千円
各種地域団体補助金　532千円、事業諸経費（消耗品費、燃料費等）929千円

【青少年育成啓発事業】
子ども会活動支援　67千円、ジュニアリーダー育成　61千円

【次世代ことうらっ子育み推進事業】
子どもパーク運営委託　547千円、琴浦子ども塾運営委託　407千円
放課後子ども教室　763千円、家庭教育講座　118千円

人件費	2021 年度（予算）		2020 年度(決算)		2019 年度(決算)		2018 年度(決算)	
担当正職員	0.3 人	1,963 千円	0.3 人	1,963 千円	0.3 人	1,961 千円	0.3 人	2,003 千円
臨時職員等	人	千円	0 人	0 千円	0 人	0 千円	0 人	0 千円
人件費合計	0.3 人	1,963 千円	0.3 人	1,963 千円	0.3 人	1,961 千円	0.3 人	2,003 千円
総事業費	4,666 千円		5,264 千円		5,839 千円		5,941 千円	

財源内訳

	2021 年度（予算）	2020 年度(決算)	2019 年度(決算)	2018 年度(決算)
国県支出金	1,221 千円	664 千円	844 千円	910 千円
国県支出金の内容	学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金			
地方債	千円	千円	千円	千円
その他特財	千円	千円	千円	千円
その他特財の内容				
一般財源	3,445 千円	4,600 千円	4,995 千円	5,031 千円
財源合計	4,666 千円	5,264 千円	5,839 千円	5,941 千円

事業番号 4

2021 年度

事業シート（概要説明書）

事 業 名	社会教育振興	事業開始年度	

事業実績 ― 活動実績

【活動指標名】（実績値/目標値）	単位	2020 年度	2019 年度	2018 年度
社会教育委員会開催	回	1/1	1/1	1/1
活動する社会教育関係団体数	団体	4/5	5/5	5/5
関係団体主催の研修会等参加	回	6/6	7/7	7/7
子ども会リーダー研修	回	1/1	0/1	1/1
琴浦子どもパーク	回	15/20	20/20	20/20
琴浦子ども塾	回	18/20	19/20	19/20
放課後子ども教室	回	2箇所 毎週水曜日開催	2箇所 毎週水曜日開催	2箇所 毎週水曜日開催
家庭教育講座	回	4	6	8
寿大学	回	一般コース:10 専門コース:68	一般コース:10 専門コース:66	一般コース:10 専門コース:66
単位当たりコスト	／			

事業成果

成果目標（指標設定理由等）	生涯にわたる学びの機会の提供を行うことを目的とした事業のため、指標を町が主催する事業への参加者を指標としています。

成果（目標達成状況）

【成果指標名】（実績値/目標値）	単位	2020 年度	2019 年度	2018 年度
子ども会リーダー研修	人	こども(26人) 育成者(16人)	0	こども(64人) 育成者(38人)
琴浦子どもパーク	人	220	342	322
琴浦子ども塾	人	塾生8人 延べ135人	塾生11人 延べ130人	塾生15人 延べ224人
放課後子ども教室	人	576	2,239	2,475
家庭教育講座	人	125	241	413
寿大学	人	学級生:104 一般コース:211 専門コース:474	学級生:131 一般コース:268 専門コース:556	学級生:157 一般コース:394 専門コース:616
		/	/	/

事業の自己評価（今後の事業の方向性、課題等）

＜現状＞
琴浦町の社会教育・生涯教育推進は主に各地区公民館を地域の拠点とし、各地区において住民ニーズに沿った事業を展開し、社会教育課では次世代を担う学齢期及びその保護者に対するアプローチを行っている。
その内容は、もの作りなどの体験活動や、地域の歴史や文化の学びを地域住民が提供する形で行っている。

＜課題＞
コロナ禍においても継続して学びを提供できる体制づくり（少人数、分散化、マンパワワーの確保）
社会の要請にこたえる社会教育の提供（ニーズの把握）

＜今後の事業の方向性＞
社会教育提供体制の充実・拡充
一般行政施策として取り組む内容との連携
（例：健康づくり、介護、福祉、子育て、環境、ゴミ、エネルギー、防災、デジタル）

比較参考値（他自治体での類似事業の例など）

特記事項

委託先シート			2021　年度
委託・補助内容	委託・補助先	金額	事業者選定方法
①琴浦町連合婦人会活動補助金	琴浦町	300 千円	補助要綱に規定した特定の団体
②琴浦町ＰＴＡ連合協議会活動補助金	琴浦町ＰＴＡ連合協議会	0 千円	補助要綱に規定した特定の団体
③琴浦町青少年健全育成協議会活動補助金	琴浦町青少年健全育成協議会	125 千円	補助要綱に規定した特定の団体
④琴浦町文化協会活動補助金	東伯文化協会	28 千円	補助要綱に規定した町内文化協会
⑤琴浦町文化協会活動補助金	赤碕文化協会	3 千円	補助要綱に規定した町内文化協会
⑥琴浦子どもパーク	琴浦こどもパーク運営員会	547 千円	
⑦琴浦こども塾	琴浦こども塾運営委員会	407 千円	
		千円	

事業番号 4

2021 年度

委託・指定管理・補助　対象団体シート（概要説明書）

予算事業名	社会教育振興（琴浦町連合婦人会活動補助金）	事業開始年度	
団体名	琴浦町連合婦人会		
団体への支出根拠（選定経過等、支出先の妥当性）	○根拠要綱　：　琴浦町連合婦人会活動補助金（特定団体への支出） ○琴浦町における女性の地域活動、家庭・地域の教育力の向上及び生涯学習の推進を図ることを目的として交付する。		

当該事業の団体における収支状況

収入		支出	
国からの財政支出金	千円	研修費、旅費、交通費	93 千円
県からの財政支出金	千円	役員手当、慶弔費	60 千円
市町村からの財政支出金	153 千円	事務費	12 千円
委託料・指定管理料	千円	会議費、総会費	39 千円
補助金	153 千円	負担金	33 千円
その他	千円	事業費	48 千円
その他　（ 会費、繰越金、事業収入 ）	132 千円		千円
総計	**285 千円**	**総計**	**285 千円**

※委託料は設計ベースのため、収入と一致しない場合あり。

団体概要

【団体概要】
○R02活動実績
各種研修、児童への食育講習、牛乳パックの回収

○会則における事業
・地域の女性の仲間づくりと親睦に関すること
・女性の地位向上と人権問題に関すること
・地域の青少年の健全育成に関すること
・日常生活の見直しと環境問題に関すること
・地域福祉の向上に関すること
・その他目的達成のために必要な事項

資本金	千円	役職員	（単位：人）	常勤	うち（出向／OB）	非常勤	うち（出向／OB）	監事	うち（出向／OB）
市出資金	千円		役員						
出資比率	%		職員						

特記事項

事業番号 4

2021 年度

委託・指定管理・補助　対象団体シート（概要説明書）

予算事業名	社会教育振興（琴浦町青少年健全育成協議会活動補助金）	事業開始年度	
団体名	琴浦町青少年健全育成協議会		
団体への支出根拠（選定経過等、支出先の妥当性）	○根拠要綱　：　琴浦町青少年健全育成協議会活動補助金（特定団体への支出） ○琴浦町における青少年の健全育成、家庭・地域の教育力の向上及び生涯学習の推進を図ることを目的として交付する。		

当該事業の団体における収支状況

収入		支出	
国からの財政支出金	千円	会議費	5 千円
県からの財政支出金	千円	負担金	4 千円
市町村からの財政支出金	13 千円	事業費	8 千円
委託料・指定管理料	千円	事務費	9 千円
補助金	13 千円		千円
その他	千円		千円
その他　（　補助金、助成金　）	13 千円		千円
総計	**26 千円**	**総計**	**26 千円**

※委託料は設計ベースのため、収入と一致しない場合あり。

団体概要

○R02活動実績
子ども会リーダー研修会開催、休みのくらし発行

○会則における事業
・青少年育成関係機関及び団体との連絡連携と事業の推進
・青少年健全育成に関する環境調査並びに環境改善活動
・青少年健全育成に関する活動の促進
・関係機関、団体に対する指導、助言並びに援助
・その他目的達成のために必要な事項

資本金	千円	役職員	（単位：人）	常勤	うち（出向／OB）	非常勤	うち（出向／OB）	監事	うち（出向／OB）
市出資金	千円		役員						
出資比率	%		職員						

特記事項

事業番号 4

2021 年度

委託・指定管理・補助　対象団体シート（概要説明書）

予算事業名	社会教育振興（琴浦町ＰＴＡ連合協議会活動補助金）	事業開始年度	
団体名	琴浦町PTA連合協議会		
団体への支出根拠（選定経過等、支出先の妥当性）	○根拠要綱　：　琴浦町PTA連合協議会活動補助金（特定団体への支出） ○琴浦町における児童生徒の健全な成長、家庭・地域の教育力の向上及び生涯学習の推進を図ることを目的として交付する。		

当該事業の団体における収支状況

収入		支出	
国からの財政支出金	千円	事務・通信費	20 千円
県からの財政支出金	千円		千円
市町村からの財政支出金	千円		千円
委託料・指定管理料	千円		千円
補助金	千円		千円
その他	千円		千円
その他（　会費　）	71 千円		千円
総計	**71 千円**	**総計**	**20 千円**

※委託料は設計ベースのため、収入と一致しない場合あり。

団体概要

○R02活動実績
学校予算における町長との懇談、夏休みの児童生徒の指導についての啓発活動
○会則における事業
・琴浦町小、中学校PTA会員を対象とした研修
・校外生活指導
・学校施設設備及び通学路等の改善のための要望
・その他必要な事項

資本金	千円	役職員	（単位：人）	常勤	うち（出向／OB）	非常勤	うち（出向／OB）	監事	うち（出向／OB）
市出資金	千円		役員						
出資比率	%		職員						

特記事項

事業番号 4

2021 年度

委託・指定管理・補助　対象団体シート（概要説明書）

予算事業名	社会教育振興（琴浦町文化協会活動補助金）	事業開始年度	平成16年
団体名	東伯文化協会		
団体への支出根拠（選定経過等、支出先の妥当性）	・根拠要綱　：　琴浦町文化協会活動補助金交付要綱（特定団体への支出） ・各種文化団体、グループ及び会員の相互の連携を保ちながら、郷土文化発展に寄与することを目的として交付する。		

当該事業の団体における収支状況

収入			支出	
国からの財政支出金		千円	会場費	2 千円
県からの財政支出金		千円	消耗品費	2 千円
市町村からの財政支出金		28 千円	通信運搬費	4 千円
	委託料・指定管理料	千円	研修費	12 千円
	補助金	28 千円	文化祭文化体験講座材料費	15 千円
	その他	千円	協会誌発行費	50 千円
その他　（　会費、繰越金、参加費　）		57 千円		千円
総計		**85 千円**	**総計**	**85 千円**

※委託料は設計ベースのため、収入と一致しない場合あり。

団体概要

構成団体：竹細工（1団体）、生け花（2団体）、俳句（3団体）、書道（2団体）、表具（1団体）、茶道（4団体）、陶芸（2団体）、押し絵（1団体）、折り紙（1団体）、園芸（1団体）、手芸（2団体）
団体数：20団体　会員数：150名
活動内容：役員会、文化祭のための準備委員会の開催、視察研修、文化祭従事
全員ではないが、一部の団体代表者が文化祭実行委員として町民文化祭の企画・運営に関わっています。

資本金		千円	役職員	（単位：人）	常勤	うち（出向／OB）	非常勤	うち（出向／OB）	監事	うち（出向／OB）
	市出資金	千円		役員						
	出資比率	%		職員						

事業番号 4

2021 年度

委託・指定管理・補助　対象団体シート（概要説明書）

予算事業名	社会教育振興（琴浦町文化協会活動補助金）	事業開始年度	平成16年
団体名	赤碕文化協会		
団体への支出根拠（選定経過等、支出先の妥当性）	・根拠要綱　：　琴浦町文化協会活動補助金交付要綱（特定団体への支出） ・各種文化団体、グループ及び会員の相互の連携を保ちながら、郷土文化発展に寄与することを目的として交付する。		

当該事業の団体における収支状況

収入			支出		
国からの財政支出金		千円	役員会費	2	千円
県からの財政支出金		千円	手当	2	千円
市町村からの財政支出金		3 千円	事務費	1	千円
	委託料・指定管理料	千円	通信運搬費	0	千円
	補助金	3 千円	会誌発行費	0	千円
	その他	千円	研修費	0	千円
その他　（　会費、繰越金　）		2 千円			千円
総計		**5 千円**	**総計**	**5**	**千円**

※委託料は設計ベースのため、収入と一致しない場合あり。

団体概要

構成団体：写真（2団体、1個人）生け花（2団体）、俳句（2団体）、短歌（1団体）茶道（1団体）、ちぎり絵（1団体）木工（1団体）
人数：57名
活動内容：理事会、文化祭のための準備委員会の開催、視察研修、文化祭従事、旧赤碕町内地区公民館祭にける作品展示やお茶席。
全員ではないが、一部の団体代表者が文化祭実行委員として町民文化祭の企画・運営に関わっています。

資本金		千円	役職員	（単位：人）	常勤	うち（出向／OB）	非常勤	うち（出向／OB）	監事	うち（出向／OB）
	市出資金	千円		役員						
	出資比率	%		職員						

事業番号 4

2021 年度

委託・指定管理・補助　対象団体シート（概要説明書）

予算事業名	次世代ことうらっこ育み推進事業	事業開始年度	平成29年
団体名	琴浦こども塾運営員会		
団体への支出根拠（選定経過等、支出先の妥当性）	琴浦町を誇りに思い、人間力、実行力のあるリーダーを発掘・育成するため、またその力を将来の琴浦町で活かせる人材を育むため、地域の誇りを深め、個々の力を伸ばすプログラムを実施する「琴浦こども塾」の企画・運営を委託する。		

当該事業の団体における収支状況

収入		支出	
国からの財政支出金	千円	報償費	344 千円
県からの財政支出金	261 千円	事務費	34 千円
市町村からの財政支出金	156 千円	教材費	25 千円
委託料・指定管理料	156 千円	燃料費	4 千円
補助金	千円	通信運搬費	5 千円
その他	千円	印刷製本費	5 千円
その他（保険料負担）	20 千円	保険料	20 千円
総計	**437 千円**	**総計**	**437 千円**

※委託料は設計ベースのため、収入と一致しない場合あり。

団体概要

構成員：塾長1名、副塾長1名、コーディネーター1名、スタッフ5名

活動内容：小学校4年生から中学校1年生を対象に、論語を柱とした茶道・姿勢などの礼儀作法、郷土の偉人・自然、歴史などを学ぶ塾を毎月第1・第3土曜日を中心に年間20回程度開催する。
運営員会を定期的に開催し、年間契約や内容等について協議する。

資本金	千円	役職員（単位：人）	常勤	うち（出向／OB）	非常勤	うち（出向／OB）	監事	うち（出向／OB）
市出資金	千円	役員						
出資比率	%	職員						

事業番号 4

2021 年度

委託・指定管理・補助　対象団体シート（概要説明書）

予算事業名	次世代ことうらっこ育み推進事業	事業開始年度	平成25年
団体名	琴浦こどもパーク運営員会		
団体への支出根拠（選定経過等、支出先の妥当性）	地域のこどもに様々な体験活動を経験させることで心身の健全な育成を図り、想像力や生きる力を育む琴を目的に琴浦こどもパークの運営を委託する。 地域の大人が指導や運営に継続的に関わることで、様々な世代間交流を促進する。		

当該事業の団体における収支状況

収入		支出	
国からの財政支出金	千円	報償費	427 千円
県からの財政支出金	351 千円	事務費	40 千円
市町村からの財政支出金	196 千円	教材費	80 千円
委託料・指定管理料	196 千円		千円
補助金	千円		千円
その他	千円		千円
その他　（　　）	千円		千円
総計	**547 千円**	**総計**	**547 千円**

※委託料は設計ベースのため、収入と一致しない場合あり。

団体概要

構成員：委員長1名、コーディネーター1名、スタッフ5名

活動内容：主に小学生を対象とした地域の指導者によるもの作り教室、科学実験などの体験教室を土曜日を中心に年間20回開催する。
運営員会を定期的に開催し、年間契約や内容等について協議する。
コーディネーターは講師等関係者との調整を行う。教室開催日には運営スタッフを配置し、講師の補助を行うことで安全な運営を行う。

資本金	千円	役職員	（単位：人）	常勤	うち（出向／OB）	非常勤	うち（出向／OB）	監事	うち（出向／OB）
市出資金	千円		役員						
出資比率	%		職員						

令和２年度寿大学（実績）

学級生104名

月　　日	学習主題	内容	人数	専門コース	人数
5/27（金）	開講式	開講式	中止	歴史0名、IT0名 茶道8名、表具0名	8
6/25（木）	講演会	講演　健康のすすめ 講師　健康ｻﾎﾟｰﾄｻﾛﾝみろく	24	歴史14名、IT30名 茶道8名、表具5名	57
7/22（水）	鑑賞	映画　「ふしぎな岬の物語」	31	歴史12名、IT32名 茶道8名、表具5名	57
8月	－	一般コースなし	0	歴史0名、IT29名 茶道7名、表具5名	41
9/28（月）	運動	ほおるんビンゴ体験	22	歴史10名、IT22名 茶道8名、表具5名	45
10/21（金）	講演会	講演　消費者トラブルにまきこまれないために	31	歴史8名、IT30名 茶道8名、表具5名	51
11/25（金）	鑑賞、折り紙	作品鑑賞と折り紙教室	23	歴史10名、IT34名 茶道8名、表具5名	57
12/16（水）	講演	講演　交通安全講習	17	歴史6名、IT19名 茶道8名、表具5名	38
1/14（木）	講演	講演　防災について 講師　防災専門員	18	歴史0名、IT24名 茶道9名、表具5名	55
2/10（水）	後援	講演　図書館ってどんな所？ 講師　図書館職員	22	歴史8名、IT24名 茶道5名、表具5名	42
3/23（火）	閉講式	寿大学　総まとめ	23	歴史5名、IT24名 茶道0名、表具5名	23
		一般コース　10回	211人	歴史1回/月　IT4回/月 茶道1回/月　表具1回/月	474人
				歴史:8回　IT:40回 茶道:10回　表具10回	68

令和元年度寿大学（実績）

学級生131名

月　　日	学習主題	内容	人数	専門コース	人数
5/27（月）	開講式	開講式	40	歴史0名、IT0名 茶道9名、表具13名	22
6/27（木）	講演会	講演　睡眠の大切さについて 講師　すこやか健康課職員	40	歴史0名、IT29名 茶道12名、表具13名	54
7/24（水）	鑑賞	映画　「母と暮らせば」	42	歴史12名、IT30名 茶道13名、表具12名	67
8月	－	一般コースなし	0	歴史8名、IT28名 茶道6名、表具10名	52
9/24（火）	町外見学	台場跡、三徳山など	46	歴史14名、IT33名 茶道12名、表具5名	46
10/21（金）	見学	民俗資料館、斎尾廃寺	18	歴史10名、IT33名 茶道13名、表具10名	66
11/25（金）	鑑賞、折り紙	作品鑑賞と折り紙教室	18	歴史8名、IT31名 茶道9名、表具5名	53
12/19（水）	講演	講演　手話について講演	15	歴史10名、IT30名 茶道10名、表具0名	50
1/27（月）	講演	茶道コース活動発表 歴史コースミニ授業	30	歴史11名、IT26名 茶道5名、表具13名	55
2/27（木）	鑑賞	映画　「家族はつらいよ」	19	歴史10名、IT31名 茶道9名、表具7名	57
3/23（月）	閉講式	寿大学　総まとめ	中止	歴史8名、IT14名 茶道0名、表具12名	34
		一般コース　10回	268人	歴史1回/月　IT4回/月 茶道1回/月　表具1回/月	556人
				歴史:9回　IT:38回 茶道:9回　表具10回	66回

平成30年度寿大学（実績）

学級生157名

月　　日	学習主題	内容	人数	専門コース	人数
5/30（水）	開講式	開講式	63	歴史0名、IT0名 茶道0名、表具11名	11
6/27（水）	講演会	講演　諸費者トラブルについて 音楽コース発表会	46	歴史14名、IT32名 茶道11名、表具12名	69
7/25（水）	鑑賞	映画　「西の魔女が死んだ」	28	歴史10名、IT37名 茶道10名、表具12名	69
8月	－	一般コースなし	0	歴史0名、IT31名 茶道10名、表具12名	35
9/25（火）	町外見学	ひるぜん、大山自然館	46	歴史14名、IT33名 茶道0名、表具12名	59
10/30（火）	見学	総合体育館の見学、使い方講習	34	歴史14名、IT34名 茶道0名、表具12名	60
11/18（日）	講演	文化センターにて人権講演	18	歴史10名、IT36名 茶道12名、表具12名	70
12/21（金）	講演	講演　ロコモについて 講師　谷川トレーナー	37	歴史10名、IT34名 茶道7名、表具10名	61
1/23（水）	運動 体操	谷川トレーナーによる体操	41	歴史7名、IT16名 茶道7名、表具13名	43
2/27（水）	鑑賞	映画「ナミヤ雑貨の奇跡」	42	歴史14名、IT36名 茶道12名、表具13名	75
3/22（金）	閉講式	寿大学　総まとめ	39	歴史14名、IT26名 茶道11名、表具13名	64
		一般コース　10回	394人	歴史1回/月　IT4回/月 茶道1回/月　表具1回/月	616人
				歴史:9回　IT:38回 茶道:8回　表具11回	66回

令和2年度琴浦こども塾年間計画

毎月第1、第3土曜日

No.	開催日	会場	R2年度	備考
1	4月18日	まなびタウンとうはく和室	入塾式/オリエンテーション 〇論語に学ぶ 〇礼儀作法（姿勢・所作） 正しい姿勢のつくり方	8
2	5月16日	河本家住宅	〇論語に学ぶ 〇河本家住宅の歴史	8
3	6月6日	まなびタウンとうはく和室	〇礼儀作法 〇グループ活動	8
4	6月20日	まなびタウンとうはく和室	〇礼儀作法（茶道①）	8
5	7月4日	まなびタウンとうはく和室	〇論語に学ぶ 〇地域の人に学ぶ① 上田啓悟さん（鳴り石の浜について）	8
6	7月18日	まなびタウンとうはく和室	〇校外学習　清元院	8
7	8月18日	琴浦町内文化財	**社会科見学**	6
8	9月5日	まなびタウンとうはく和室	〇地域の人に学ぶ② 小松亜希恵さん（SDGsについて）	5
9	9月19日	塩谷定好写真記念館	〇論語に学ぶ 〇郷土の偉人（塩谷定好）	7
10	10月10日	旧中井旅館	〇論語に学ぶ 〇旧中井旅館について	8
11	11月7日	まなびタウンとうはく和室	〇論語に学ぶ 〇百人一首かるた	6
12	11月21日	まなびタウンとうはく和室	〇論語に学ぶ 〇礼儀作法（茶道②）	7
13	12月5日	まなびタウンとうはく和室	〇論語に学ぶ 〇ビブリオバトル	8
14	12月19日	まなびタウンとうはく和室	〇論語に学ぶ 〇百人一首かるた	8
15	1月16日	まなびタウンとうはく和室	〇論語に学ぶ 〇礼儀作法（茶道③）	8
16	2月6日	まなびタウンとうはく和室	〇論語に学ぶ 〇学習発表会の準備	8
17	2月20日	まなびタウンとうはく和室	〇論語に学ぶ 〇学習発表会の準備	8
18	3月6日	まなびタウンとうはく和室	〇学習発表会／修了式	8
			18回	135

R2家庭教育　事業実施一覧

○小中学校

学校名	開催日	対象	講師	テーマ	講師謝金
浦安小	10月23日(金)	保護者44名	中部こども支援センター長 松下綽子	子どもの心の育ちと親子のコミュニケーション	15,000
聖郷小	10月1日(木)	５年生保護者（１８名）	ミオ・ファティリティ・クリニック 葉山　美紀子さん	人が生まれることの意味	15,000
赤碕小	9月17日(木)	保護者57名	ミオ・ファティリティ・クリニック 葉山　美紀子さん	命の尊さ、心や体の成長と健康について	15,000
		参加者合計 119人			

○子育て支援

会場	開催日	対象	講師	テーマ	
みどり保育園	8月19日(木)	未就園児とその保護者（３組）6人	小林　和子	子育て支援講座「子どものことを知ろう」	12,000
		参加者合計 ６人			
		総合計 125人			57,000

令和2年度ことうら子どもパーク開催実績

	日程	教室名	場所	参加人数（小学生のみ）
1	6月27日	プラバンキーホルダー（赤碕・船上）	ふれあい交流会館	26
2	7月4日	プラバンキーホルダー（八橋）	八橋地区公民館	18
3	7月11日	プラバンキーホルダー（浦安・聖郷）	まなびタウンとうはく	20
4	8月8日	スイーツデコ	八橋地区公民館	16
5	8月22日	スイーツデコ	ふれあい交流会館	15
6	9月26日	紙飛行機シューター	八橋地区公民館	11
7	10月10日	紙飛行機シューター	まなびタウンとうはく	11
8	10月17日	紙飛行機シューター	ふれあい交流会館	12
9	11月14日	ストリングアート（八橋）	八橋地区公民館	10
10	11月21日	ストリングアート（赤碕・船上）	ふれあい交流会館	7
11	11月28日	ストリングアート（浦安・聖郷）	浦安地区公民館	8
12	12月5日	アイシングクッキー（八橋）	八橋地区公民館	20
13	12月12日	アイシングクッキー（浦安）	まなびタウン	13
14	12月19日	アイシングクッキー（赤碕・船上）	赤碕地区公民館	16
15	12月25日	パンづくり、紙飛行機（せいごうキッズ共催）聖郷	上郷地区公民館	17
			合計	220

○平成31年度事業実績　　八橋地区公民館

		内　　容	ね ら い	実績(開催日・回数・参加人数等)
諸会議	公民館運営協議会	公民館の事業計画・運営方針について、地区内学識経験者などで協議する	公民館活動の総括的な改善検討推進	年11回開催・のべ108名出席
	教養体育部長会	教養体育部長35名で組織。公民館の事業の具体的な取組について協議し、実践していく	事業実施を通じた地域リーダーの育成	年11回開催・のべ247名出席
	実行委員会（合同会）	海で遊ぼう！磯遊び・運動会・公民館まつりなどの公民館事業の具体的な取組について内容等を検討し、実践する。各団体代表（区長・食生活改善推進委員・女性部長・小学校など）	各団体との連携による効果的な事業実施	年5回開催・のべ35名出席
	やばせキッズ実行委員会	小学校・PTA・おやじの会・活動アドバイザー・公民館で組織。やばせキッズ内容等について協議・実践する	地域・学校・家庭が一体となった健全育成環境づくり	5/24　10名
	女性部長会	女性部長で組織。女性教室・視察研修の内容検討・実践を行う	地区女性活動の活性化と女性リーダーの育成	年3回開催・のべ18名出席
	地区女性交流会	公民館女性部・公民館サークル代表で組織。意見交換を行う	地区内女性団体の連携・調整	5/11　14名
女性教室	女性部視察研修	長楽寺・株式会社トキワ・余部鉄橋・山陰海岸ジオパーク海と大地の自然館	女性視点による地域づくり学習・実践の推進	7/27　30名
	正月用フラワーアレンジメント教室	季節・行事に合わせて、アレンジを学ぶ。	日本の伝統文化と現代的アレンジについての学習	12/26　13名
文化教養講座	ふるさとを知る会	大山寺（ボランティアガイドと探索） 大山まきば　みるくの里・花回廊・寿城	ふるさとの自然や歴史を学習する。	9/1　26名
	大人の社会見学	山田養蜂場・津山まなびの鉄道館・奥津渓		5/19　37名
一般教養講座	健康寿命の延ばし方・からだリセットヨーガ教室	ヨガ教室にて、体力の向上・体のリフレッシュを目指す	自分らしく健康で豊な生活を長く送る為、ロコモ予防の簡単なヨーガで体力づくりを目指す。	6/4　20名 6/18　18名
	パン作り教室	家庭でも作れるパン作りを学ぶ。	食や健康に関する意識の高揚、手作りの良さ、大切さを学ぶ。	8/19　16名
	認知症サポーター養成講座（共催事業）	認知症について講話を聴き、参加者で話し合う。	地域全体で認知症の方を見守っていく。地域づくり。	2/25　35名
	初心者向けスマホ教室	中高年向けにスマホの機能を使いこなして日常生活を豊かに便利にする。	生活向上	1/21　11名 2/18　8名 3/17　中止
自主学習活動奨励・支援	自主運営教室活動支援	下記各公民館教室派生の自主運営学習グループ・団体に対して、大会・発表機会・各種助成金・講師などの情報提供などの活動支援を行った。 ・からだリセットヨーガ教室 ・生け花教室 ・パッチワーク教室　・すだれの会 ・折り紙教室　・コットンクラブ ・八橋レクダンス　・パソコン教室 ・フラワー(フラダンス) ・大正琴教室	住民の自主的な学習活動支援	通年

地域活性化事業	第42回八橋地区 公民館まつり ・住民作品展 ・チャリティーバザー ・八橋物産展 ・芸能発表会 ・バザー・ビンゴ大会 など	公民館まつりは、地区住民みんなが参加する親睦、交流の機会を提供し、近年薄れがちになっている地区住民の連帯意識の醸成を図る。また、このまつりを生涯学習活動啓発及び発表の場と位置づけ、「生涯学習情報発信基地」公民館としての役割を果たす。	子どもから成人まで地域住民全員が参加する親睦、交流の場として開催し、地域の活性化をはかるとともに生涯学習活動発表、啓発の場と位置づける。	11/10　515名
	第2回 海で遊ぼう！磯遊び」	次代を担う子供たちがふるさとの美しさと大切さ、多くの人々と築く人間関係の大切さを体験できるように、青少年の健全育成を図る機会としてこのまつりを開催する。	地域の青少年と住民との交流を深め、青少年の健全育成、地域活性化を図る。	7/15　103名
スポーツ活動及び大会	町民運動会	町民運動会・卓球大会・グラウンドゴルフ大会・ソフトバレーボール大会等 スポーツを通じて住民相互の親睦を深める。健康、体力の増進を図る。	ふれあいの場として住民相互の親睦と連携を深めると共に健康、体力の増進を図る	10/6 雨のため中止
	グラウンドゴルフ大会			4/21　118名
	ソフトバレーボール大会			6/30　161名
	盆ソフトボール大会			8/14　279名
	卓球大会			2/2　445名
高齢者学級	健康寿命の延ばし方 ・男の料理教室	食生活改善推進員による唾液分泌の体操・生活習慣病予防の指導を受け、簡単に作れる減塩料理を学ぶ。	高齢者の健康づくり、生きがい、役割等について再確認する。	11/20　17名
成人教室	干支・パッチワーク教室	成人を対象とした教養・趣味・娯楽等の学習活動を地域住民へ提供し学習意欲を図る。	趣味の会を通して交流が持て、学習意欲もわき、心身、心のリフレッシュにつながる。	12/6　16名
	干支・折り紙教室			12/11　11名
	カントリードール教室			2/25　14名
家庭教育・子ども週末支援活動	・第2回海で遊ぼう！磯遊び	八橋キッズ（地域での青少年体験活動） 現代の子どもや家庭をとりまく環境と、その生活実態、こころの問題等について課題を把握し、問題解決に向けて学習する。体験や行事を通し、親子のふれあいを深める。	週末を中心としてスポーツ・文化活動を地域・学校・家庭が協力し、地域での居場所づくりの支援や子どもの健全育成に努める。	7/15　子ども46名 大人57名
	・親子夕涼み会 （親児の会協働事業）			9/14　子ども19名 大人　26名
	・公民館まつりの 事前準備			11/9　子ども5名 大人5名
	・公民館まつりの遊び コーナー参加しよう。			11/10　子ども3名 大人4名
	・料理教室			12/7　子ども12名 大人8名
	・八橋卓球大会 （こどもの部）			2/2　子ども7名 大人7名
青少年健全育成	八橋地区安全 パトロール隊	・八橋小学校児童との対面式 （交通安全教室） ・地域安全パトロール巡回・地域全体で子ども達を見守る気運を高める。 （あいさつ・顔と顔が繋がる地域づくり）	子ども達が安心・安全に登下校できるよう見守り活動を行う。	4/10　12名 通年
人権・同和教育	人権・同和教育推進研究協議会総会及び講演会	八橋地区同推協事業及び予算の決定、評議員の選出。同和教育の推進を図る。評議員会・総会・研修会 「多文化共生と新在留資格制度について」 講師　公益財団法人　鳥取県国際交流財団 総括マネージャー　荒砂茂徳さん	総会にあわせて講演会を実施。地域の課題を学習する。	通年 総会・事前研修会他 4回・のべ97名
	同和問題 小地域懇談会	各部落ごとに、行政、地区同推協と連携し、町共通課題「部落問題を通して、人間関係づくり、地域づくりを考えよう」についての懇談会開催。	町民一人ひとりが人権・同和教育について考える機会を作る。	2月～3月 9部落が実施

○令和元年度事業実績　　浦安地区公民館

事業名		内容	ねらい	実績（開催日・回数・参加人数等）
諸会議	公民館運営協議会	公民館の事業計画・運営方針について、地区内学識経験者などで協議する。	公民館活動の総括的な改善・検討・推進	年3回開催(単独の会) のべ33名出席
	公民館運営協議会委員・教養部長・体育部長・スポーツ推進委員合同会	公民館運営協議会委員10名、教養部長34名、体育部長34名、スポーツ推進委員4名で組織。公民館事業の具体的な取組について協議・実践する。	事業実施を通じた地域リーダーの育成	年6回開催 のべ269名出席
	実行委員会 （教養部担当者会）	公民館事業の具体的な取組について内容等を検討・実践する。 各団体代表と連携を取りつつ実施する。	事業実施の効率化	年2回開催 のべ16名出席
	うらやすキッズ実行委員会	小学校長・PTA会長・生活部長・うらやすキッズアドバイザー・公民館で組織。うらやすキッズの事業内容等について協議・実践する。	地域・学校・家庭が一体となった青少年健全育成のための環境づくり	年1回開催 6名出席
	女性部長会	女性部長24名で組織。女性教室・視察研修の内容検討・実践を行う。各部落における活動について情報交換を行う。	地区女性活動の活性化	年1回開催 15名出席
	人権・同和教育推進研究協議会 役員会・ 部落懇談会事前研修会	浦安地区人権・同和教育推進研究協議会役員16名で組織。地区住民への啓発活動、具体的な学習内容の研究などについて協議・実践する。	地区住民にあらゆる人権課題に対する正しい知識を広め、健全な人権意識育成のための環境づくり	4/25役員会①10名 5/21監査会4名 11/28役員会②7名 1/30事前研修会112名
文化・教養講座	文化・教養講座講演会	演題：「鳥取の味“あご入り鰹ふりだし”を世界のマーケットへ」 講師：種子 晋司さん （株式会社ヘイセイ代表取締役）	異業種からの参入による開発時の苦労話や、人生の転機となった数々の出会いや出来事を基に、困難を突破していく前向きな生き方を学ぶ	7/7・40名
	ふるさとを知る会	見学先：ソフトバンク鳥取米子ソーラーパーク，千代むすび酒造株式会社 案内人：岡田 綾子さん、他 （NPO法人エコパートナーとっとり）	ふるさとを知り、ふるさとを愛する心の涵養 身近にある史跡・施設・文化についての学習	8/24・22名
女性教室	女性部視察研修	但馬大佛の歴史と寄進者の思いに触れ、地域における人と人とのつながりを大切にする心を知る。 株式会社トキワの食と健康への取り組みを知り、食生活のあり方を考える。 山陰海岸ジオパークについて知り、自然環境保全への関心を高めるきっかけづくりとする。	女性の視点による地域課題の整理、まちづくりの学習・実践の推進	6/15・33名
	出張女性教室 （各部落女性部）	手芸・園芸教室などを各部落女性部で企画・検討し、学習活動を実施する。 公民館まつりへの作品出展を通して、多方面へ活動実績をPRする機会とする。	手芸教室、園芸教室などの出前講座の企画 親睦、ひとづくり、地域づくりなど、女性の継続的活動の促進	4/6 浦安10区・8名

一般教養講座	おとこもつくる 料理教室	地元食材を使った簡単で健康づくりを意識した料理について学び、料理に親しむ。 献立:さばの唐揚げ香味ソース，ゆで豚香りソース，ミルクポテトサラダ，チンゲン菜のごま酢あえ，とろろ昆布のすまし汁，他 講師:食生活改善推進員	野菜料理と減塩の大切さを学ぶ 日々の食生活におけるメタボ予防を意識する 料理をする機会の設定 親睦・交流の促進	5/25・22名 (男性16,女性6)
	いすヨガ教室	いすに座ってできる無理のない運動法を学ぶ。併せて若返りのための顔ヨガを体験する。 講師:井本 法子さん(椅子ヨガパンダ)	関節可動域を広げるための無理なく続けられるストレッチ法と、表情を変えることで心を安定させる顔ヨガを学び、健康寿命延伸をめざす	4/26・20名
	多肉植物の 寄せ植え教室	さまざまな種類の多肉植物を使った寄せ植えづくりを体験し、その管理方法を学ぶ。 講師:下嶋 奈津佳さん	初心者にも育てやすい多肉植物の寄せ植えづくりを通して、家庭や地域における緑のある環境づくりへの関心を高める	6/7・15名
	カレイドフレーム づくり	刺しゅう枠にチュールなどの布を張り、額に見立てて造花を貼り付けたインテリア雑貨をつくる。	身近に手に入る材料と簡単な制作工程の作品づくりを通して、ものづくりへの関心を高め、その楽しさを知る	8/3・19名
	折り紙教室①	子どもから高齢者まで馴染み深い折り紙を使い、季節の行事にちなんだ「祭り」の折り方を学ぶ。 講師:酒本 幸栄さん	わずかな折り方の違いやレイアウト方法で生まれる作品の個性を感じ、ものづくりの楽しさを知る	9/29・13名
	立体和紙 ちぎり絵教室	立体ちぎり絵の技法を学び、大振りで華やかな「牡丹」をつくる。 講師:前田 孝子さん	和紙ならではのぬくもりある風合いを活かした作品づくりを通して、ものづくりの楽しさを知る	10/17・19名
	折り紙教室②	子どもから高齢者まで馴染み深い折り紙を使い、季節にちなんだ「秋桜と吾亦紅」の折り方を学ぶ。 講師:酒本 幸栄さん	わずかな折り方の違いやレイアウト方法で生まれる作品の個性を感じ、ものづくりの楽しさを知る	10/26・11名
	ガーデニング教室	季節の花の寄せ植えを学ぶ。 講師:財賀 明子さん	季節の移ろいを感じ、草花を育てる喜びを知る 花いっぱい運動への貢献	11/9・22名
	クリスマスインテリア づくり	写真立てにコルクシートを張り、グリーンモスをもみの木に見立てて飾りつけ、クリスマス向けのインテリア雑貨をつくる。	身近に手に入る材料と簡単な制作工程の作品づくりを通して、ものづくりへの関心を高め、その楽しさを知る	12/13・10名
	正月用フラワー アレンジメント教室	正月向けのフラワーアレンジメントを学ぶ。 講師:安藤 充勉さん(花はあんどう)	年中行事の一環として、日本の伝統文化と現代的アレンジについて学ぶ	12/26・18名
	手芸教室 (4回講座)	パッチワーク形式で布を縫い合わせ、マチのついた使いやすいポーチをつくる。 講師:那須 久代さん	ミシンを使わず手縫いで丁寧に作り上げることでものづくりへの関心を高め、その楽しさを知る	1/22・10名 1/28・9名 2/12・8名 2/26・9名
	囲碁・将棋大会	毎年開催の囲碁・将棋大会	地区内外を問わず、趣味を通した多世代交流と生きがいを感じられる場の提供	2/9・21名
自主運営教室支援	自主運営 教室活動支援	公民館教室派生の各自主運営学習グループ・団体に対し、大会・発表機会・情報提供などの活動支援を行う。 おしゃべりサロン／詩吟教室／スマイル体操 一歩会(将棋)／太極拳教室／卓球クラブ 折り紙サークル	住民の自主的な学習活動支援	通　年

高齢者教室 地域子ども教室（うらやすキッズ）	グラウンドゴルフ交流会 （高齢者教室・地域子ども教室共催）	子どもから高齢者まで幅広い年齢層が参加しやすいスポーツを通して、健康づくりと世代間交流を図る。 協力：浦安南・北万寿クラブ（高齢者クラブ）	近年、地域において希薄になりがちな多世代交流と高齢者の生きがい・健康づくりの場の提供	7/27・キッズ2名 大人22名
	工作教室／羊毛フェルトでマスコットづくり （ことうら子どもパーク共催）	羊毛を専用の針で刺してフェルトにし、毛糸を背中の針に見立てたハリネズミ型のマスコットをつくる。	普段あまり使うことのない材料を使ってできる工作を通して、ものづくりへの関心を高め、その楽しさを知る	8/17・キッズ29名 大人19名
	かんたん！おいしい☆クレープづくり	デザートの定番であるクレープを生地からつくり、好きな具をトッピングしてみんなで会食する。 季節の行事を仲間とともに楽しむ。	家庭でも簡単につくれるおやつづくりを通して、親子のふれあいの時間を増やす 食育への関心を高める	12/7・キッズ15名 大人11名
	卓球大会 （子どもの部）	浦安地区卓球大会子どもの部に参加。低学年、高学年の各部に分かれ、それぞれ対戦。	浦安地区大会と同時開催にすることで、地域の大人との交流やスポーツの活気を体感し、その楽しさを知る	2/2・キッズ19名 大人18名
地域活性化交流事業	あったかカフェたんぽぽ	地域包括支援センター、県立琴の浦高等特別支援学校、東伯けんこうと連携し、地域交流カフェを運営する。 協力：地域ボランティアスタッフ	地域住民の交流および相談の場の提供 健康づくり、認知症予防等を意識した体験活動の実施 障がいのある人々との交流を通して、障がいに対する正しい知識と理解を深める	年7回開催 のべ205名参加
	公民館まつり	地区住民の作品展示、芸能発表会、囲碁・将棋コーナー、子ども体験コーナー、お茶席、バザーなど	地区住民の親睦・交流の機会の提供による住民同士の連帯意識の醸成 生涯学習活動啓発および発表の場づくり	11/11・370名
人権・同和教育	人権・同和教育推進研究協議会総会および講演会	浦安地区人・同推協の事業・予算決定、決算承認、役員選出等重要事項を決議する。 講演：「琴浦町人権・同和教育部落懇談会の振り返りと今後に向けて」 講師：琴浦町人権教育推進員 鍋島 しのぶさん	総会と併せて講演会開催 琴の浦高等特別支援学校の取組について学び、あらゆる人権課題について振り返る機会をつくる	5/30・63名
	部落懇談会	部落ごとに行政、地区人・同推協と協力しながら、町共通課題「インターネットと人権」についての懇談会開催	平等・公正の定義を知り、格差や差別をなくすために町民一人ひとりができることを考える機会をつくる	29部落 317名
社会体育	グラウンドゴルフ大会		地域住民の健康・体力づくり実践活動 日常生活の中に積極的に運動を取り入れる機運の醸成 健康増進とスポーツへの興味、参加意欲を促進し、住民相互の親睦を深める	4/29・85名
	ペタンク大会			5/12・45名
	ソフトバレーボール大会			6/9・70名
	盆ソフトボール大会			8/15 台風接近のため中止
	卓球大会			2/3・120名
	町民運動会	10部落対抗による競技実施 採点種目の成績により1～3位を表彰		10/6 グラウンドコンディション不良のため中止

○令和元年度事業実績　　下郷地区公民館

事業名		内容	ねらい	実績（開催日・回数・参加人数等）
諸会議	公民館運営協議会	公民館の事業計画・運営方針について、地区内学識経験者などで協議する	公民館活動の総括的な改善検討推進	年5回開催 延べ52名出席
	教養体育部長会	教養体育部長15名・スポーツ推進委員3名で組織。公民館の事業の具体的な取組について協議し、実践していく	事業実施を通じた地域リーダーの育成	年2回開催 延べ33名出席
	実行委員会 （役員合同会）	運動会・公民館まつりなどの公民館事業の具体的な取組について内容等を検討し、実践する。各団体（公民館運営協議会委員・区長・教養体育部長・スポーツ推進委員・女性部長など）	各団体との連携による効果的な事業実施	年5回開催 延べ200名出席
	せいごうキッズ 実行委員会	小学校・公民館で組織。せいごうキッズ事業計画等について協議・実践する	地域・学校・家庭が一体となった健全育成環境づくり	年9回開催 延べ29名出席
	女性部長会	女性部長7名で組織。女性教室・視察研修の内容検討・実践を行う	地区女性活動の活性化と女性リーダーの育成	年1回開催 9名出席
	区長会	地域の活性化を目指し、住民が一丸となって地域を盛り上げられるようサポートする	地域のリーダーとして、地域住民の活性化を図る	年2回開催 延べ20名出席
	まちの保健室 （打合せ会）	まちの保健室事業について、各部落区長・健康づくり推進委員の皆さんに事業説明を行う。	地域のリーダーとして、地域住民の健康づくりを推進する	年9回開催 延べ37名出席
	まちの保健室 （事業説明会・打合せ会）	まちの保健室事業について、各部落区長・健康づくり推進委員の皆さんに事業説明を行う。	地域のリーダーとして、地域住民の健康づくりを推進する	年3回開催 57名出席
女性教室	女性部視察研修	女性の視野を広げ教養を高めるため年に一度の視察研修を通して、相互の親睦と情報交換の場である。（視察先は女性部で協議）	女性視点による地域づくりの学習・実践の推進。匠による体験活動の促進	6/23・36名
	足もみ健康教室	足の裏の図を見ながら棒を使いどこに効くのかわかりやすく指導してもらう。	女性視点による地域づくりの学習・実践の推進。専門家による足もみ健康教室の促進	7/13・20名
	布リース作り教室	布を使ってかわいいリース作りを指導してもらう。	女性視点による学習・実践の推進、もの作りの楽しさを知る	10/27・12名
	正月用フラワーアレンジメント教室	季節・行事に合わせてのフラワーアレンジ	日本の伝統文化と現代的アレンジについての学習	12/29・13名
	出張女性教室 （各部落女性部）	手芸・園芸教室など各部落女性部で内容を検討して学習活動を実施する	女性の地域での継続的活動を促進し、趣味や手芸などの出前講座を企画し、共通の課題について研修を深める	4/4森藤・12名 6/3三保・7名 10/28下光好・7名 11/4杉下・10名 10/20上釣・9名 11/11美好・11名 11/16釣・3名
文化教養講座	故郷めぐり	伯耆国「開山1300年祭」にあたり、県が誇る自然遺産である国立公園大山に行き、大山の歴史にふれる。	ふるさとを知り、ふるさとを愛する心を涵養する	5/12・20名
	合同視察研修	江戸中期の画家円山応挙やその一門の画家たちが描いた、仏間他13余の部屋の襖絵など現在165点が国の重要文化財にふれる。	町外の研修により、見聞をひろめ教養を高め合い、住民同士の親睦を図り交流を深める	10/13・23名

一般教養講座	ノルディックウォーキング教室	地区住民と釣保育園児が交流しながらウォーキングする。	ウォーキングを通して継続して健康づくりを行う習慣を身に着ける	5/9・74名
	下郷・上郷共催事業「防災講座」	いざという時に、慌てず落ち着いて行動できるよう今からはじめる防災基礎講座。	防災の基礎を学び正しい理解のもとで一人ひとりが尊重される生活を送るため共通認識を深める。	6/29・37名
	導体ストレッチ教室	導体とは、筋肉をゆすりリラックスした状態にする技術で、痛みの無い簡単なストレッチの指導を受ける。	運動習慣の定着を図る。健康づくりの推進。	9/20.27 延べ24名
青少年活動	せいごうキッズ （下郷・上郷・古布庄・小学校共催）	下郷・上郷・古布庄地区公民館・聖郷小学校が連携し、児童と保護者を対象に行う。 ①わくわくどきどき見学会 ②わくわくパン作り	聖郷小学校・家庭・地域・公民館が連携し、子ども達の体験活動を支援する。	①8/6・37名 ②1/12・16名
社会体育事業	ソフトバレーボール大会	男子7チーム・女子7チーム参加	スポーツを通じて、健康増進と住民相互の親睦を図る。いつでもどこでも、だれにでも出来るスポーツ・レクリエーションを広く普及し機運を醸成する	6/10・約150名
	ソフトボール大会	4チーム参加		8/19・約80名
	町民運動会	部落対抗戦		雨のため中止
	グラウンドゴルフ大会	9チーム参加		10/21・54名
	卓球大会	男子17チーム・女子10チーム参加		2/3・約200名
公民館まつり	第30回 公民館まつり	生涯学習活動の発表、啓発の場とする作品展、芸能大会、バザー、ふれあいコーナーなど	住民同士、顔の見えるつきあいを深めるとともに、自分のふるさとを愛する心を育み魅力ある地域づくりをめざす	11/10～11 来場者　365名 芸能大会出場者 82名 観覧者 201名
青少年健全育成	地域安全パトロール	①聖郷小学校児童との対面式 ②登下校の見守り	児童生徒が安心・安全に登下校できるよう見守り活動を行なう	①4/11・150名 ②通年
まちの保健室事業	まちの保健室 （子育て健康課・下郷地区公民館共催）	・「自分の体を知ろう！」をテーマに体年齢チェックや元気な体づくりを目指す運動を行う。町アスレティックトレーナー谷川さんに指導を受ける。 ①健康教室（下郷地区公民館） ②健康教室（杉下部落） ③健康教室（平和公民館） ④健康教室（森藤部落） ⑤健康教室（三保公民館） ⑥鳥取看護大学によるまちの保健室	地域住民が主体的・組織的に健康づくり活動を行うことができるよう、情報提供と実践の場の提供を行い、健康づくりを推進する	①6/14・28名 ②7/28・30名 ③8/26・21名 ④9/29・28名 ⑤12/1・22名 ⑥2/24・59名
人権・同和教育推進事業	第37回総会	事業及び予算の決定、決算の承認、役員・評議員の選出他	地域ぐるみで人権意識の高揚をはかり、差別のない明るい町づくりを推進する	6/27・28名
	小地域懇談会 事前研修	人権・同和教育部落懇談会 一人ひとりが尊重され、心豊かにつながりあうまちづくりをめざして ・今年度の学習のテーマ 障がいのある人も暮らしやすいまちづくり	○一人ひとりの人権を尊重できる仲間作り ○支えあい、つながりあう仲間づくり、地域づくり ○一人ひとりの思いや願いの実現をめざす地域づくり	1/31・45名
	小地域懇談会 （各部落）			2月～3月・217名

○令和元年度　事業実績　　上郷地区公民館

事業名		内容	ねらい	実績（開催日・回数・参加人数等）
諸会議	公民館運営協議会	公民館の事業計画・運営方針について地区内学識経験者などで協議する。	公民館活動の総括的な改善検討推進	年5回開催 のべ50名
	役員合同会	区長・教養・体育・女性部長・スポーツ推進委員で組織。公民館の事業の具体的な取組について協議し、実践していく。	事業実施を通じた地域リーダーの育成	年5回開催 延べ150名
	女性部長会	女性部長10名で組織。女性教室・視察研修の内容検討・実践を行う。	地区女性活動の活性化と女性リーダーの育成	年1回開催 12名
	せいごうキッズ実行委員会	小学校・公民館で組織。せいごうキッズ事業計画等について協議・実践する。	地域・学校・家庭が一体となった健全育成環境づくり	年9回開催 延べ29名
	公民館まつり実行委員会	区長・教養・体育・女性部長・公民館運営協議委員・スポーツ推進委員・食生活改善推進員・赤十字奉仕団で組織。公民館まつりの具体的な内容・取組について協議し、実践していく。	役員・各団体と連携を図りながら事業を展開し、地域の活性化に繋げていく。	年1回開催 35名
女性教室・成人教室	手作りパン教室	地元の食材を使った安心安全の身体に優しい手作りパン作り。	食や健康に関する意識の高揚、手作りの良さ、大切さを学ぶ。、	6／17・16名
	女性部視察研修	『松江フォーゲルパーク』から、植物と動物の生態を学ぶ。『島根原子力館』から、原子力発電・安全の仕組みや放射線の事等を学ぶ。	女性視点による地域づくり学習・実践の推進	6／30・34名
	サンキャッチャー教室	窓際や壁を華やかに彩りながら、光と色を楽しむ装飾品を製作。	教養を高め、技術を取得しながら生活を潤いのあるものにするための学習機会	8／24・35名
	ペーパーデコレーション教室	色とりどりの紙を花の形に作り、装飾しティッシュボックスを製作。	教養を高め、技術を取得しながら生活を潤いのあるものにするための学習機会	9／29・30名
	アニマルフラワーアレンジメント教室	ぽんぽん菊を動物の顔に見立て、アレンジメントを製作。	教養を高め、技術を取得しながら生活を潤いのあるものにするための学習機会	11／6・28名
	クリスマスガーデニング教室	クリスマスをテーマに、8種類の旬の花を使ったガーデニングを学ぶ。	教養を高め、技術を取得しながら生活を潤いのあるものにするための学習機会	11／7・36名
	手作りスイーツ＆Café風ごはん教室	地元の食材を取り入れ、カルシウム摂取しやすい乳製品を使った料理教室。	食や健康に関する意識の高揚、手作りの良さ、大切さを学ぶ。	3／15・18名
	出張女性教室（各部落女性部）	手芸・料理・健康教室など各部落女性部で内容を検討して学習活動を実施する。	女性の地域での継続的活動を促進し、趣味や手芸などの出前講座を企画し、共通の課題について研修を深める。	4/10・8名（野田）
一般教	大人も学ぼう！社会見学会	住民同士の交流と共に学習する場として、『陸上自衛隊米子駐屯地』を見学し、内部の様子や災害派遣での活動の様子を学ぶ。『千代むすび酒造』から酒蔵見学と、お酒の活用法を学ぶ。	住民同士の親睦と交流を図りながら、学習意欲の向上を図る。	8／30・30名

養講座	防災講演会	下郷地区公民館と共催。防災の基礎を学び、正しい理解のもとでひとりひとりが尊重される生活を送るための共通認識を深める。【避難所運営ゲーム】を開催。	いざという時の行動、避難方法や避難所を把握し、被害を最小限にするために防災意識を高める。	6／28・37名
青少年活動	上郷地区わくわく子ども会	地区の児童と保護者の親睦と交流、横の繋がりの充実、体験活動を目的とする。 ①社会見学会 ②夏休み勉強会 ③ことうらこどもパークの作品作り	上郷地区の聖郷小学校児童・保護者・公民館が連携し、子ども達の親睦と交流・体験活動を支援する。	①8/5・32名 ②8／19・30名 ③12／25・33名
	せいごうキッズ	下郷・上郷・古布庄地区公民館と聖郷小学校共催。 ①夏休みわくわくドキドキ体験・見学会 ②旬の野菜をおいしく食べよう	聖郷小学校・家庭・地域・公民館が連携し、子ども達の体験活動を支援する。	①7／30・23名 ②12／26・23名
社会体育事業	GG交流会	各種スポーツのルール・マナーを学び、技術を取得し、スポーツを楽しみながら推進を図る。	地域住民の健康・体力づくりの実践。住民相互の親睦を図るとともに、住民一人ひとりが日常生活の中に積極的に運動を取り入れる機運を醸成することを目的とする。また健康増進とスポーツへの興味、参加意識を促し住民相互の親睦を深める。	4／28・42名
	ソフトバレー交流会			6／7・14・21 28名
	ソフトバレー大会			6／23・66名
	町民運動会			雨天中止
	卓球大会			2／9・62名
人権・同和推進事業	総　会	年間事業報告・決算報告・事業計画・予算について他	人権意識の高揚を図る。	5／11・26名
	小地域懇談会事前研修会	各部落小地域懇談会に向けての学習	住民に正しい認識を広げ、差別のない明るい町づくりを目指す。	1／31・28名
	各部落小地域懇談会	①公文部落②山田部落③大杉部落 ④福永部落⑤野田部落 （各部落懇談会）	人権問題について、住民同士意見交換しながら学習し、意識を高める。	①2／16・24名 ②2／22・25名 ③2／23・31名 ④2／15・4名 ⑤2／21・9名
高齢者学級	いきいきご長寿体操教室	椅子に座り、楽な姿勢でゆったり体操とストレッチ	家庭でも続けられる体操を通じて健康増進を促す。	10／29・55名 2／28・54名
	さぁしぶりにしゃべらぁ会	こがね保育園児交流・寸劇・歌・健康体操・ご詠歌・ゲーム・お話会他	高齢者の引きこもり防止・仲間づくり・生きがいを見出す。	10／29・77名 2／28・54名
	いきいき健康料理教室	減塩メニューを学ぶ。	栄養とバランスを考慮しながら料理の手順を取得し、健康増進を図る。	1／15・28名
青少年健全育成	地域安全パトロール	①聖郷小学校との対面式 ②地域安全パトロール巡回	子ども達が安心・安全に登下校出来るよう見守り活動を強化する。	①4／10・150名 ②通年・250名

公民館まつり	第34回 上郷地区公民館まつり	住民作品展示・チャリティーバザー・炊き込みご飯サービス・お抹茶サービス・手打ちそば販売・もちつき実演販売・お楽しみステージ他。	住民同士顔の見えるつきあいを深めると共に自分のふるさとを愛する心を育み、魅力ある地域づくりを目指す。	11／10・347名
自主学習支援活動	自主運営支援 活動支援	自主運営学習グループ・団体に対して、相互の親睦と交流・健康増進を促し、また発表の機会・各種助成金等の情報提供を行った。 ・卓球倶楽部 ・囲碁・将棋サークル ・トールペイントサークル ・PanPan倶楽部 ・軽スポーツサークル	住民の自主的な学習活動の支援	通年

○平成31年度事業実績　　古布庄地区公民館

事業名		内容	ねらい	実績（開催日・回数・参加人数等）
諸会議	公民館運営協議会	公民館の事業計画・運営方針について、地区内学識経験者などで協議する	公民館活動の総括的な改善検討推進	年2回開催・のべ14名出席
	教養体育部長会	教養体育部長で組織。公民館の事業の具体的な取組について協議し、実践していく	事業実施を通じた地域リーダーの育成	年1回開催・のべ10名出席
	実行委員会（合同会）	運動会・公民館まつり・二人三脚駅伝などの公民館事業の具体的な取組について内容等を検討し、実践する。各団体代表（区長・教養体育部・運営協議会委員・女性部長など）	各団体との連携による効果的な事業実施	年6回開催・のべ110名出席
	せいごうキッズ検討会	小学校・公民館でせいごうキッズ内容等について協議・実践する	地域・学校・家庭が一体となった健全育成環境づくり	年9回開催・のべ29名出席
	人権・同和推進教育	地域における人権・同和教育の推進の理解と実践を進める ・評議員会 ・総会 ・小地域懇談会事前研修会	地域住民に正しい認識を広げ差別のない明るい町づくりをめざす	年3回開催・のべ68名出席
女性教室	出張女性教室（各部落女性部）	手芸・料理・健康教室など各部落女性部で内容を検討して学習活動を実施する	女性の地域での継続的活動を促進し、趣味や手芸などの出前講座を企画し、共通の課題について研修を深める	4/6他3回下三本杉・26名 1月24日他2回矢下・18名 2月9日別宮・17名 2月10日別宮・19名
成人教室	タイルクラフト教室	タイルを使って作る簡単ななべ敷きづくり	ものづくりの楽しみながら仲間づくりの機会の提供	4/20・10名
	木のおもちゃで遊ぼう&森のペンダントづくり	木をつかった手作りペンダント作りとだれでも楽しめる積み木あそびの体験（古布庄地域振興協議会主催、古布庄夜市の中で開催）	木の温かみや木工の楽しさを体験する	8/24・約200名
	カントリードール教室	端切れなどを使って作る人形づくり	身近にある端切れなどを使ってできる手芸を楽しむ	10/19・10名
	お正月フラワーアレンジメント教室	お正月向けのフラワーアレンジメントを学ぶ	日本の伝統文化と現代的アレンジメントについての学習	12/28・8名
	古着でリフォーム教室	使わなくなった古着をリフォームしバックインバックや座布団カバーを作成	古着を有効活用しながら、手芸の楽しさを知る	2/6・5名
	ヘルシークッキング	乳和食を取り入れた料理教室	乳和食を取り入れ減塩やカルシウムを簡単に取ることのできるメニューの提供	3/1・11名
文化教養講座	視察研修会	島根県出雲大社や出雲文化伝承館の見学	出雲の茶の湯文化や歴史を学ぶ	6/29・23名
	シニア向けスマホ・ケータイ安全教室	シニア向けのスマートフォンの使い方講座	スマホの基本的な使い方を学び、災害時に使えるアプリや災害伝言板について学ぶ	11/15・16名

子育て支援事業	おやこのたのしいじかん	楽しい食育講座	子育て世代の交流を通し、地域で子育てを援助する仕組みとあらたな地域人材の育成をめざす。	5/15・4組8名
		親子でできる音楽あそび		7/29・10組23名
		親子de新聞講座		9/5・2組4名
		図書館司書さんによる読み聞かせと簡単おやつ作り		12/19・5組12名
		ベビーマッサージ		3/19・8組17名
地域子ども教室	せいごうキッズ	夏休みどきどき☆わくわく見学会	地域・学校・家庭が一体となった健全育成環境づくり （下郷・上郷・古布庄共催）	7/30・23名
		冬休みわくわくクッキング教室		12/26・23名
	エンジョイSCHOOL	楽器を鳴らそう&ミニコンサート ※カウベル芸術文化振興事業活用	地域での居場所づくりの支援や子どもの健全育成に努める	6/15・18名
		親子deカラーユニバーサルデザイン教室		7/28・19名
		サバイバル体験・竹串パン ※ことうら子どもパーク共催		9/7・40名
		一向平で野外教室		10/26・40名
社会体育事業	地区グラウンドゴルフ大会	スポーツを通じて住民相互の親睦を深める。健康、体力の増進を図る。	いつでもどこでも、だれにでも出来るスポーツ・レクリエーションを広く普及し機運を醸成する	雨のため中止
	ソフトバレーボール大会			6/9・約80名
	町民運動会			台風のため中止
	秋季グラウンドゴルフ大会			10/20・31名
	卓球大会			2/2・約130名
地域活性化事業	古布庄まつり2019	住民作品展、出店、かくし芸大会	地域の魅力を発信すると共に、住民同士の親睦・交流を図り、活力ある地域づくりを目指す	11/9・11/10 約350名
	琴浦町巨木の郷二人三脚・三人四脚駅伝大会	一人走、二人三脚、三人四脚でタスキをつなぐ駅伝大会		11/10・約300名
人権・同和推進教育	地区人権・同和教育推進研究協議会	人権・同和教育部落懇談会 障がいのある人も暮らしやすいまちづくり	一人ひとりが尊重され、心豊かにつながりあうまちづくりをめざす	8集落
自主学習活動支援	自主運営教室活動支援	自主運営学習グループ・団体に対して、大会・発表機会・各種助成金などの情報提供などの活動支援を行った。 ・俳句の会「せせらぎ」 ・パッチワーク ・リフォームの会	住民の自主的な学習活動支援	通年

○平成31年度事業実績　　赤碕地区公民館

事業名		内容	ねらい	実績(開催日・回数・参加人数等)
諸会議	公民館運営協議会	公民館の事業計画・運営方針について、地区内学識経験者などで協議する	公民館活動の総括的な改善検討推進	年10回開催 のべ140名
	体育部長会	公民館体育事業(町民運動会・・GG交流会・盆ソフトボール大会・卓球大会)の協議・運営を行なう	事業実施の参加協力と、地域リーダーの育成	8/8・23名
	水曜寄り道クラブ運営委員会	水曜寄り道クラブのボランティアが集まり、情報共有・当番決めをする	水曜寄り道クラブの目的・青少年へのかかわり方を共有する	2回・のべ20名
	わくわくキッチン連絡会	わくわくキッチンのボランティアが集まり、メニューを決めたり、運営の仕方を協議する	わくわくキッチンの目的・青少年へのかかわり方を共有する	5/11・4名
	ひよこの会	乳幼児学級のボランティアが集まり、運営の仕方について協議する。	乳幼児学級の目的を、情報共有する	4/10・4名
	ふるさと海岸整備協議会	年間の事業について話し合う	地元の海岸美化を維持する	2回のべ50名
健康推進	チャレンジ登山	他地区公民館との連携事業。地区住民のニーズに基づいて行なう趣味教室活動	地区外との交流をし、親睦を図る。健康推進	4/27・17名 11/3・12名
	グラウンドゴルフ交流会	小学生以上を対象としたグラウンドゴルフ交流会	グラウンドゴルフを通して異年代交流の場を設ける	雨天中止
	盆ソフトボール大会	盆の一日に、地区対抗のソフトボール大会を行なう	地区住民同士の親睦及び、健康推進	8/14・60名
	町民運動会	10月第1日曜日に、運動会を開催		雨天中止
	卓球大会	公民館祭の一環として開催、部落対抗		2/2・174名
地域活性化	公民館祭	作品展示・物品販売・バザー等	親睦の場として各種催しに参加・出場・出品して頂き、芸能文化を通じて活力ある地域作りに役立てる	2/2・700名
環境問題	ふるさと海岸一斉清掃(総会・清掃)	赤碕海岸の環境を保存しより、良い環境のもとに海岸の美化を図る	海岸・公園の整備・環境美化、維持管理の推進を図る	4/25・25名 10/27・286名
女性教室	視察研修	但馬大仏・砂の美術館を見学。地域づくり・文化を学ぶ	女性の地域活動の大切さを重視し、地域課題の学習・仲間づくりを目指した生涯活動を推進する	6/10・28名
	クリーン作戦	地区の海岸を清掃する		9/14・21名
	料理教室	減塩料理を食改に学ぶ		11/25・17名
家庭教育学級	月と星の観察会	小学生親子対象。月と星の観察会を行う	宇宙に興味をもつ・ふるさとを知る	8/3・45人
	親子クッキング	小学校1年生の教養部と連携し、小学校1年生の親子を対象にしたクッキング教室。講師は、食生活改善推進委員	食や健康に関する意識の高揚、食生活を見直す機会を提供、小学校1年生親子の仲間作り	11/10・78名

子育て支援	乳幼児学級	毎月第1水曜日に子育てをしている親子の交流の場。布絵本づくり・おやつ教室・歌あそび・牛乳料理・おもちゃ作りなどを企画	少子化・核家族が進む中で、保護者の孤立防止を図る。交流の場、相談の場も兼ね揃え指導者から支援する場の提供	年9回開催 のべ 212人
青少年健全育成	わくわくキッチン	小学生を対象にした子ども料理教室 週末支援活動	地域で子どもの健全育成を支援する 地元の食材をたくさん使い、ふるさとの味を知る	年10回開催 のべ353名
	水曜寄り道クラブ	小学生が下校後に公民館によって、地域の大人の人と遊んだり、宿題をしてすごす	異年齢で遊ぶ。地域で子どもの健全育成をする	年36回 のべ1001名
	Tシャツ染め	小学生が対象。玉ねぎの皮でTシャツを染める	夏休み課題の手伝い・手作りの楽しさを教える	8/1・13名
成人教室	機織り教室	毎週金曜日に、無盡庵で機織りでマフラーやコースターを作る。	手作りへの関心と交流の場	20回・のべ91名
自主学習活動奨励・支援	自主運営教室活動支援	自主運営学習サークルに対して、大会・発表機会・各種助成金・講師などの情報提供などの活動支援を行った。 ・パソコン教室 ・折紙教室 ・健康教室 ・七宝焼き教室 ・フラワーアレンジメント教室 ・やさいの学校 ・エコクラフト教室 ・男の料理教室 ・切り絵教室 ・タオヨガ教室 ・安来節教室 ・大正琴 ・パッチワーク ・囲碁 ・折紙教室 ・エコクラフト教室	住民の自主的な学習活動支援	通年

○令和元年度事業実績　　成美地区公民館

事業名		内容	ねらい	実績（開催日・回数・参加人数等）
諸会議	公民館運営協議会	公民館の事業計画・運営方針について協議する	公民館活動の総括的な改善検討推進	6回　76名
	体育部長会	公民館の体育事業について協議	事業内容の把握、事業参加と協力	1回　20名
	水曜道くさクラブボランティア連絡会	水曜道くさ・ボランティアが集まり、学期ごとに反省会を行う。	道くさクラブの約束の確認と情報交換 運営の潤滑化	3回　26名
	分館長会	1月に新区長が集まり、公民館活動についての説明を行う。	公民館事業の周知と各種行事への参加協力	1回　23名
	佐崎河川公園整備協議会	年間の活動計画について話し合う。	各区長への作業協力依頼と年間作業計画等	2回　40名
	学校地域戦略会議	学校・公民館・文化センター・地域ボランティアが集まり連絡をとりあう。	地域と学校の連携、行事や情報交換	8回　80名
女性教室	五感で楽しむ中国茶	中国茶の歴史や効能について学び、色々な種類のお茶を淹れて飲み比べてみる。	日本茶のルーツである中国茶について学ぶ。	5/18　10名
	季節の保存食作り	季節の野菜や果物を使って添加物のない安全な保存食を作る。	食を通して健康な身体をつくる	7/24　15名 12/12.13　12名
	郷土料理講習会	食生活改善推進員の協力で地元に伝わる郷土料理を作る。	郷土料理の伝承	11/10　20名
	カレイドフレームで作るクリスマスツリー	刺しゅう枠を使い、クリスマスの飾り作りをする。	季節の小物作りで暮らしを豊かにする	12/1　10名
	視察研修	三朝町で織物体験とバイオリン美術館の見学及びコンサートの観賞	地域の文化や芸術にふれる	12/7　16名
成人教室	チャレンジ登山	赤碕中学校区の4館共催で山楽会の協力を得て登山を行う	自然に親しみ、健康づくりと親睦を深める	4/27　29名 11/3　25名
	男の料理教室	畜産農家の話と牛肉を使った料理	男性の公民館活動への参加	7/6　14名
	ミニ健康講座	薬剤師の方に薬と日常生活の健康管理について話を聞く	健康寿命を延ばす	8/25　13名

	ロコモ予防の体操教室	筋力の衰えを予防する椅子に座って気軽にできる体操	筋力の衰え防止と健康寿命を延ばす	9/25　12名
放課後支援	水曜道くさクラブ	下校の早い水曜日に、公民館で習字を習う。宿題をしたりボランティアさんと一緒に遊んだりする	習字を通して、あいさつや礼儀なども学ぶ。 他の学年と一緒に遊び交流を深める。	毎週水曜日 計30回実施 延べ参加人数 こども1,048名 ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ148名
船上キッズ	ナイトウォークラリー	以西地区公民館事業と協賛で行う。 グループを作りポイントを通りながら以西地区を歩いて回る。	歩いて回ることで、地域の再発見と、チームで協力し合う心を養う。	7/20悪天候のため中止
	夏休み見学ツアー	パン作り体験とアロマキャンドル作り、なしっこ館見学	夏休みを利用して色々な施設の見学や体験をする。	7/27　21名
	船上山登山とカヌー体験	船上山少年自然の家の協力で船上山登山とカヌー体験をする。	自然体験	11/9　16名
体育行事	グラウンド・ゴルフ大会	各部落に参加呼びかけ、団体戦・個人戦をあわせて行う。小学生から高齢者まで幅広い参加がある	健康増進と地域住民の親睦を深める。	6/17 14チーム84名
	町民運動会	保育園から高齢者まで広い年齢層が参加しやすいプログラムで実施	健康増進と地域住民の親睦を深める。	台風接近のため中止
	ペタンク大会	ソフトボール大会の替わりに誰でも気軽にできる競技として始める。	健康増進と地域住民の親睦を深める。	11/17 9チーム51名
	なわとび大会	部落対抗で跳んだ数を競う	健康増進と地域住民の親睦を深める。	2/9　11チーム88名
	卓球大会	団体戦・個人戦（男・女・中高生・親子）で行う	健康増進と地域住民の親睦を深める。	団体戦8チーム32名 個人戦　55名
催し・その他	男女共同参画講演会	船上小学校PTAと共催で子どもの人権について学ぶ	子どもの人権と大人の役割について学ぶ	9/18　　61名
	公民館祭	公民館活動・地域住民・小学校・こども園・文化センターなどの作品展示	作品の発表の場を設ける	2/9　300名
	かくし芸大会	各部落が出場の他、地域で活動している団体やゲストも出演	練習を通して地域住民の親睦を深める	2/9　　10チーム85名
	囲碁・将棋大会	地域住民が囲碁・将棋の腕を競い合う	参加者の親睦を深める	2/9　13名
	味噌作り	自家製、地元産の米や大豆を使い、グループで協力して味噌を手作りする。	自家製の米や大豆の利用と、無添加で安全な味噌作り。	11/25　会議6名 12月～2月味噌作り32名
展示	古民具収集	古民具の収集と展示 小学生が昔の暮らしの学習で利用	道具を通して昔の生活の様子を知る。	1回　25名
環境美化活動	佐崎河川公園整備協議会	地域住民、船上小学校、ふなのえこども園の協力を得て、年5回河川公園の清掃美化活動を行う	年間を通して清掃作業を行うことで環境美化を保つ	年3回実施 のべ参加人数 169名

自主活動推進	写真教室	それぞれが撮った写真を持ち寄り意見交換を行う。文化祭、公民館祭への作品出品	写真技術の向上と会員の交流	
	俳句教室	句会を開き、季節の句を詠む。 合同俳句展、文化祭、公民館祭への作品出品。	俳句を通じて四季を感じ感性を養う。	

○令和元年度事業実績　　安田地区公民館

事業名		内容	ねらい	実績(開催日・回数・参加人数等)
諸会議	公民館運営協議会	公民館の事業計画・運営方針について、地区内学識経験者などで協議する	公民館活動の総括的な改善検討推進	年14回開催・のべ180名出席
	厚生部長会	厚生部長8名で組織。公民館の事業の具体的な取組について協議し、実践していく	事業実施を通じた地域リーダーの育成	年2回開催　のべ16名出席
	社会部長会	公民館祭の公民館事業の具体的な取組について内容等を検討し、実践する	事業実施を通じた地域リーダーの育成	年2回開催・のべ16名出席
	学校地域戦略会議	船上小学校・PTA・3地区公民館(安田・成美・以西)・地域コーディネーターが集まり、各地区について情報交換や事業の協力など話し合う	小学校統合を機に、各地域の力を合わせよりよい学校環境を作る	年8回開催・のべ78名出席
女性教室	視察研修	松江歴史館(ホーランエンヤ速報展) 松江城　八重垣神社	松江400年の歴史と建造物に触れる	7/28・27名
	旬の野菜を使った料理講習	旬の野菜のよさを生かし、子育て世代のお母さんに簡単に作れる料理を伝える		8/1・10名 10/17・14名 3/24・9名
	編みかご教室	紙バンドを使ってかごを編む	生活向上	7/16・6名
成人教室	チャレンジ登山(春・秋)	地元の山楽会の案内で各地の山に登る	自然に触れる機会を作り体力維持を目的に登山する	春4/27　29名 秋11/3　25名
	やすだおやつ作りの会	目に見える材料で安心手作りおやつ	材料選びの大切さと生活向上	5/26・8名 8/11・15名
	男女共同参画講演会	子どもの人権について学ぶ	船上小学校・成美、以西、安田地区公民館共催事業	9/18　61名
	ミニ門松作り教室	正月飾りのミニ門松を作り、門松に使われている材料について学ぶ	伝統文化の継承と自然のもので物作り体験をし学ぶ	12/22・12名
	和紙あかり作り教室	地元の和紙と自然のツルを使った灯りづくり	生活向上	2/16・18名
	地域づくり講演会	地域振興協議会のあり方	地域を分析し何を展開できるか、住民が話しあい実行できる機会を作る	2/29・67名
	てくてくやすだ会	安田地区内の歴史スポットを歩く	地域内の歴史や文化に触れ、住民同士の交流を持つ	3/22・21名
シニア教室	視察研修	山田養蜂場みつばち農園　学びの鉄道館・衆楽園	みつばちの生態と自然を学ぶ　鉄道の歴史について学ぶ	4/19・17名
	グラウンドゴルフ交流会	グラウンドゴルフを日頃からされている高齢者同士の交流試合を行う	高齢者の健康維持促進と交流	6/18・24名

青少年育成事業	船上山登山と カヌー体験	地元の山と自然に触れ、自発的な活動をする機会をもつ	船上山少年自然の家指導員と子どもたちの自発を促す活動	11/9・16名
	ふなのえこども園との交流（安田地区公民館共催）	安田のモーモーカウィーさんと一緒に牛乳を使ったおやつ作り	地域の方と交流、牛について学ぶ	1/11　30名
	夏休み見学ツアー （船上キッズ）	湯梨浜町ぱにーに 倉吉市二十世紀梨記念館	子どもたちの自立と物事への興味を促し体験することの大切さを学ぶ	7/27　21名
	ハロウィンパーティ	異文化体験や交流をし国際理解を深める。ALTによる絵本の読み聞かせ、ハロウィン知識クイズラリー、お菓子作り	文化の違いを受け入れ楽しみ国際的視野を広げる	赤碕中ALTリーナ先生 10/5　38名
社会体育事業	グラウンドゴルフ大会	8部落から23チーム参加 グラウンドゴルフで他部落と競技し交流	誰でもできるスポーツを通して地域内交流を図る	5/12・90名
	ソフトボール大会	トーナメント戦でソフトボールを行う	異世代交流と各部落交流を図る	8/18・90名
	町民運動会	安田地区の一大イベント 各種目において老若男女が競う	様々な競技に参加することで部落の団結を強め、異世代交流を図る	9/29・競技参加者 約1100名
	バレーボール大会	トーナメント戦でバレーボールを行う	部落の団結、地域の交流を深める	11/17・120名
	安田ゴルフ会	春秋2回開催	地域交流を深める	10/29　14名
	やすだピンポン大会	誰もが参加できる部落総当りのリーグ戦	部落の団結、地域の交流を深める	2/23・90名
乳幼児教室	子育てサポート活動 Step－by－Step	毎月第4水に子育てをしている家庭を対象にいろいろな企画を行い、お母さん同士、地域、子どもたちの交流を推進する	子育て中のお母さんや子どもたちと地域の交流の場	毎月第4水 ボランティア6名 年間参加数　39組
公民館祭	安田地区公民館のつどい	地域住民作品　船上小児童・ふなのえこども園児作品の展示　かくし芸大会や地域サークルの活動発表	旧安田小学校を使用し、地域活性化の場となり交流や発表する場を提供する	2/23・200名

○平成３１年度事業実績　　以西地区公民館

事業名		内容	ねらい	実績（開催日・回数・参加数）
諸会議	公民館運営協議会	公民館の事業計画・運営方針について、地区内学識経験者などで協議する	公民館活動の総括的な改善検討推進	年6回開催・のべ75名
	区長会	区長会長など役員を決めたり、公民館事業の報告を行い、年間を通して協力を願う	区長会長など役員きめ	1/11・12名
	公民館運営協議委員、体育教養部長合同会儀	新年度の初めに、区長ほか各部長・公運協が集い１年間の事業等の協議を行う。	年間行事開催を共通理解する	1/11・35名
	教養・体育部長会	公民館の集いや年間事業についての説明	各種行事への積極的参加を促し、協力体制をとる	年３回開催・のべ90名出席
	船上小学校地域戦略会議	統合により学校との連携がとりにくくなったので、意見交換を行う	学校と地域の連携・調整	8回/80名
女性教室	料理教室（季節の保存食）	季節の野菜を上手に調理し、ひと手間加えて家事の手間を省く	旬の素材を上手に調理して生活向上	7/8・12名
	クリスマスケーキとコースター作り	手作りケーキと布製コースター作り	親子で参加してもらい、手づくりにこだわった教室を行う	12/21・12名
	リメイク教室	使わなくなった帯や着物を使ってリメイクしバッグを作る。	帯のリメイクの仕方を学ぶ	11/10・11/24 11/30・12/1 20名
	正月用フラワーアレンジメント教室	季節・行事に合わせて、アレンジを学ぶ	日本の伝統文化と現代的アレンジについての学習	12/28・17名
体育事業	以西ゴルフ大会	以西地区住民および出身者の団体・個人戦で優勝をあらそう	健康増進と地区住民の親睦を図る	5/26・26名
	ソフトバレー大会	男女別部落対抗戦で行う。ストレッチ体操はスポ少バレー部員が行う	健康増進と地区住民の親睦を図る	6/16・155名
	盆ソフトボール大会	部落対抗戦で行い、お盆の帰省客の参加も認めているため懐かしい話で盛り上がる	健康増進と地区住民の親睦を図る	8/14・162名
	グラウンドゴルフ大会	各部落が男性・女性・寿の部でチームをつくり参加する。保育園児から高齢者までよい交流の場となる	健康増進と地区住民の親睦を図る 地元郵便局に協賛いただき賑やかに開催	10/20・150名
	卓球大会	男女ペアのダブルス戦でリーグ戦で行う。他のスポーツに出れない部落も卓球には参加できる部落も多い	健康増進と地区住民の親睦を図る	2/2・130名
青少年（船上キッズ）	体験活動	船上山登山とカヌー体験をおこなう	地元の山を知ることで、地元愛を育む	11/9・17名
	夏休み見学ツアー	・パニーに湯梨浜店でパン作り体験教室とアロマキャンドル作りを体験する。 ・二十世紀梨記念館なしっこ館に立ち寄り梨の事を学ぶ。	自立・下学年への思いやりや様体験することの楽しさを学ぶ	7/27・21名
	もの作りコーナー（公民館のつどい）	プらパンキーホルダー作りを、ことうらこどもパークの方に教わる	ものつくりの楽しさを学ぶ。子どもの居場所づくり	2/2・22名
	男女共同参画講演会	Ｅ・ラボの繁原美保さんを講師に迎え、船上小学校保護者・先生を対象とした講演会「子どもの人権」～大人の役割～を開催	子どもの虐待の実態や、子育てに思い悩んだ時にどうしｔらいいかを学ぶ。	9/18・61名
成人教室	春＆秋チャレンジ登山	赤碕中学校区４館で行い、山楽会に行き先と当日の運営協力をお願いする	他地区の参加者との親睦と自然とふれあい達成感を味わう	4/27　・27名 11/9　・17名
	体力パワーアップ教室	骨密度・血管年齢・体力測定・尿検査等を教室の初日と最終日に計測し、身体の動かす大切さやバランスのいい食事の大切さを谷川トレーナー、小塩支援員から学ぶ	体力増進、　ロコモ予防 継続することの大切さを学ぶ	毎週金曜日 ４０回４５０名
	健康講演会（公民館のつどい）	谷川哲也コンディチョニングトレーナーを迎え、「元気な心身をはぐくむために」必要なことの講演会を開催	健康な体づくりに必要なことを学ぶ	2/2・40名

事　業　名		内　　容	ね　ら　い	実績（開催日・回数・参加数）
共催事業	まちの保健室 （公民館のつどい）	以西地区振興協議会が今年度「まちの保健室」を開催しておられるので、多くの方が集まる公民館のつどいの開催・ＰＲ	自分の体のことを知り、健康維持には何が必要かを学ぶ。	2/2・110名
地域活性化活動	町民運動会	仮装コンテストから始まり、部落対抗戦の様々なプログラムを準備、実施	地区住民の健康増進と親睦・交流をはかる	9/29・350名
	公民館のつどい	各種団体、小学校、保育園児の力作を展示。各部落、保育園、小学校のかくし芸の披露	閉じこもりがちな時期、地域住民の交流親睦を図る	2/3・320名
	味噌加工	地元産材料を持ち寄り、各部落単位ごとに手作りの味噌作りを行う。役員会の開催	地産地消を合言葉に添加物のない安心安全な味噌づくり	12月～3月　70名
	いさい夢まつり	以西の伝統芸能である「以西踊り」を踊り、地域住民が集い親睦を図る	昔からお盆の時期に踊り継がれてきた行事を復活	8/3・250名
	以西おどり保存会	伝統芸能大会への出演、青少年への伝承指導や地区運動会への参加・総会	地域の伝統芸能の伝承・保存活動	年間８回　120名
		船上小学校の行事「学びを活かす集会」への指導を会員で行う。	地域の伝統芸能の伝承・保存活動と地域の人との交流	11月4回・12名
自主学習活動	自主運営化推進		住民の自主的学習活動奨励と拡大	ＧＧ同好会：24回480名 男の料理：5回80名 フラワーアレンジメント：12回141名 シニアゴルフ：10回100名

青少年の体験活動などの効果を経年的な視点から
分析を行ったところ、

子どもの頃の「体験」は
未来社会を担う
子どもたちの
健やかな成長を
確かなものにする

ために必要な要素であることが
見えてきました

調査結果は
こちら

結果 1

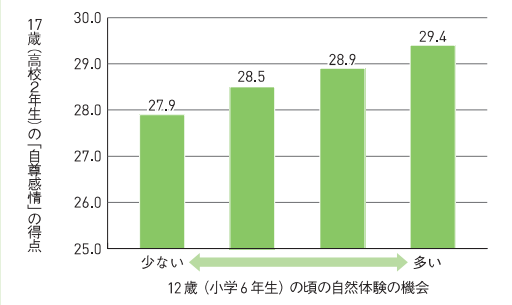
小学生の頃に体験活動などをよくしていると、その後の成長に良い影響が見られることが分かりました

21世紀出生児縦断調査で回答されたデータを再分析したところ、小学生の頃に体験活動（自然体験、社会体験、文化的体験）や読書、お手伝いを多くしていた子どもは、その後、高校生の時に自尊感情（自分に対して肯定的、自分に満足している、など）や外向性（自分のことを活発だと思う）、精神的な回復力（新しいことに興味を持つ、自分の感情を調整する、将来に対して前向き、など）といった項目の得点が高くなる傾向が見られました。また、小学生の頃に異年齢（年上・年下）の人とよく遊んだり、自然の場所や空き地・路地などでよく遊んだりした経験のある高校生も同様の傾向が見られました。

このことから、**小学生の頃に行った体験活動などの経験は、長期間経過しても、その後の成長に良い影響を与えている**ことが分かりました。また、経験した内容（体験活動や読書、遊び、お手伝い）によって影響が見られる意識や時期が異なることから、子どもの健やかな成長を確かなものにしていくためには、１つの経験だけでなく、多様な経験をすることが必要であるということも見えてきました。

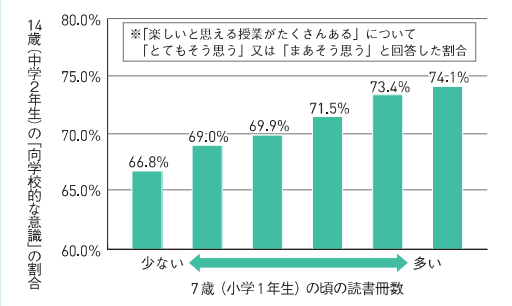
「体験活動」の影響

体験を多くすることによる影響を自然体験（キャンプ、登山、川遊び、ウインタースポーツなど）、社会体験（農業体験、職業体験、ボランティア）、文化的体験（動植物園・博物館・美術館見学、音楽・演劇鑑賞、スポーツ観戦など）に分けて分析したところ、自然体験では主に自尊感情や外向性、社会体験では小・中・高校生の時期の向学校的な意識（勉強・授業が楽しい）、文化的体験は全ての意識（裏面参照）に良い影響が見られることが分かりました。



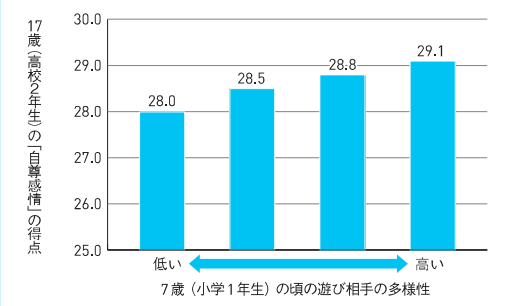
「読書」の影響

読書を多くすることによる影響を分析したところ、新奇性追求（新しいことに興味を持つ、など）や感情調整（自分の感情を調整する、など）、肯定的な未来志向（将来に対して前向き、など）といった精神的な回復力や、小・中・高校生の時期の向学校的な意識に良い影響が見られることが分かりました。



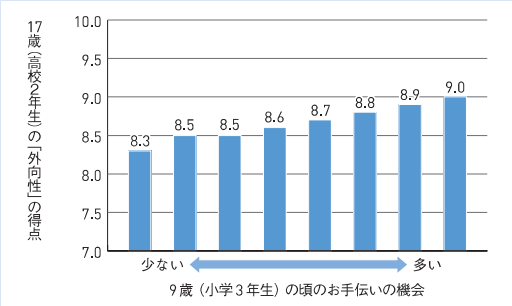
「遊び」の影響

遊び相手などによる影響を分析したところ、異年齢の子どもや家族以外の大人とよく遊ぶなど多様な相手と遊ぶ機会が多いと、自尊感情や外向性などに良い影響が見られることが分かりました。



「お手伝い」の影響

お手伝いを多くすることによる影響を分析したところ、自尊感情や外向性を始め、精神的な回復力、向学校的な意識など、全ての意識に良い影響が見られることが分かりました。

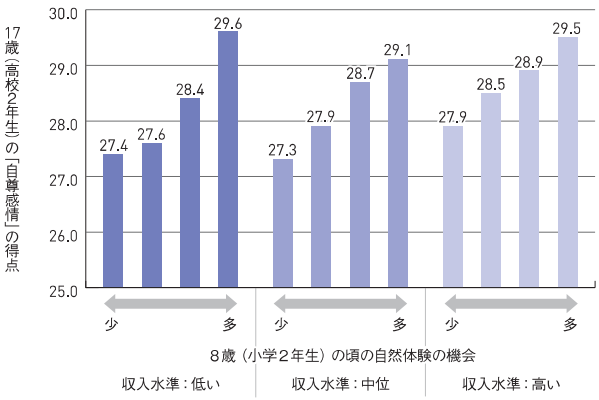


※上記の分析結果の詳細は、令和２年度体験活動等を通じた青少年自立支援プロジェクト「青少年の体験活動の推進に関する調査研究 報告書」の「参考資料（各調査・分析結果の詳細）」をご覧ください。

結果 2 体験をよくしていると、家庭の経済状況に関わらず、良い影響が見られることが分かりました

子どもの成長には家庭環境の要因も影響することが考えられることから、子どもが置かれている環境（家族構成、収入、住環境、親のしつけ）を考慮して体験の影響を分析しました。その結果、小学校の時に体験活動などをよくしていると、家庭の環境に関わらず、その後の成長に良い影響が見られることが分かりました。

そこで、世帯収入の水準別に分けて体験と意識との関係を分析したところ（右図参照）、**収入の水準が相対的に低い家庭にある子どもであっても、例えば、自然体験の機会に恵まれていると、家庭の経済状況などに左右されることなく、その後の成長に良い影響が見られる**ことが分かりました。



社会全体で子どもたちの成長を支えていきましょう

多様な形で「体験」の場や機会をつくっていくことが重要です

小学生の頃に経験した「体験活動」（自然体験、社会体験、文化的体験）「読書」「遊び」「お手伝い」とその後の意識の関係を分析した結果、それぞれの体験の特性によってその後の意識に異なる影響が見られることが分かりました。

そのため、**子どもの健やかな成長を確かなものにするためには、何か１つの体験をするのでなく、多様な体験をする**ことが必要になると考えます。

また、体験する機会がよくある子どもは、家庭の収入や親の学歴が高い傾向にあることなどが背景にあると考えられますが、収入の水準が相対的に低い家庭の子どもであっても、体験活動などをよくした子どもはその後の成長に良い影響が見られることが示唆されました。そのため、**全ての子どもたちが様々な体験にチャレンジできるよう、周りにいる大人が「意図的」「計画的」にその機会や場を設けるようにする**ことが大切です。

できることから連携してやっていきましょう

今後は、全ての子どもたちが置かれている環境に左右されることなく、体験の機会を十分に得られるように、みなさんで**力を合わせて「多様な体験を土台とした子どもの成長を支える環境づくり」を進めていく**ことが重要です。

そのためにできることとしては、家庭ではお手伝いや読書の習慣を身に付けるようにする、地域では放課後などに地域の大人と遊びを通じて交流する機会を設ける、学校では社会に開かれた教育課程の実現を目指して地域と連携しつつ体験活動（自然体験・社会体験・文化的体験）の充実を図るといったことなどが考えられます。

こうした取組を通じて家庭・地域・学校が連携し、社会全体で子どもたちの成長を支えていきましょう。

文部科学省では、豊かな体験活動を通した青少年健全育成の推進について広く理解・普及を図るため、体験活動推進特設ページ（たっぷり体験）を開設しています 。

文部科学省　たっぷり体験　検索

「体験」の影響について同じ対象者に対して長年実施する調査のデータから分析しました

子どもが置かれている環境の違いも踏まえ、長期間経過した後の影響について分析

「21世紀出生児縦断調査（平成 13年出生児）」という調査のデータを活用し、「体験活動などがその後の状況に及ぼす影響」に関して、次の３つをポイントとして分析を行いました。

- 「過去に経験した体験とその後の意識など」について時系列的な関係性をとらえる
- 家庭・保護者の状況などの違いも踏まえたうえでの体験活動などの影響に着目する
- 多様な「体験」に関し、その後の状況に及ぼす影響について検討する

これらを踏まえ、**「多くの体験を経験した子どもはその後の意識が高い」ということを明らかにする**ことを試みました。

同一の保護者・子どもに対して行う調査のデータを活用

これまでにも「体験活動がその後の状況に及ぼす影響」をテーマとした調査は実施されています。しかし、これらの調査は回答者に過去のことを思い出してもらって得た情報を用いることもあり、必ずしも過去の経験を明瞭にとらえた分析はなされてきていませんでした。

また、保護者の経済力や保護者自身の経験の多寡など子どもたちが置かれている環境等によって、子どもたちの『体験格差』が指摘されていますが、従来の分析では、これらの差異があることを踏まえた分析もほとんど行われてきませんでした。

「21世紀出生児縦断調査（平成 13年出生児）」は、平成 13年の１月10日から同月17日の間及び同年 7月10日から同月17日の間に出生した子どもとその保護者を対象とした調査です。**同一の調査対象を追跡している調査であり、子どもと保護者の状況について、年に１回の頻度で調査が実施**されており、体験活動の効果についてより正確な分析が期待できたことから、この調査データを活用した分析を行いました。

多様な体験と多様な意識との関連性を分析

今回の分析では、「体験」の内容として、**「体験活動（自然体験・社会体験・文化的体験）」「遊び」「読書」「お手伝い」に着目**しています。なお、「自然体験」はキャンプ、登山、川遊び、釣り、海水浴、マリンスポーツ、ウインタースポーツを、「社会体験」は農業体験、職業体験、ボランティアを、「文化的体験」は動植物園・水族館・博物館・美術館見学、音楽・演劇・古典芸能鑑賞又は体験、スポーツ観戦を、それぞれ反映した項目となっています。

そして、これらの活動の経験の多寡と、「向学校的な意識（勉強･授業を楽しいと思う）」「自尊感情（自分に対して肯定的、自分に満足している、など）」「外向性（自分のことを活発だと思う）」「精神的回復力（①「新奇性追求（新しいことに興味を持つ、など）」、②「感情調整（自分の感情を調整する、など）」、③「肯定的な未来志向（将来に対して前向き、など）の３つの要素」「心の健康（健康的にすごせている）」といった意識との関連性について分析しました。

■企画・担当
文部科学省総合政策教育局地域学習推進課

■受託・分析
株式会社浜銀総合研究所地域戦略研究部

■調査検討委員会委員（50音順）
阿 部　　彩（東京都立大学人文社会学部教授）
青木康太朗（國學院大學人間開発学部准教授）
池 田 幸 恭（和洋女子大学人文学部准教授）
加 藤 承 彦（国立成育医療研究センター 社会医学研究部・行動科学研究室室長）

■ヒアリング調査協力・写真提供（機関名、50音順）
特定非営利活動法人キッズドア
公益社団法人国土緑化推進機構
独立行政法人国立青少年教育振興機構
新潟市農林水産部食と花の推進課
公益財団法人ハーモニィセンター
特定非営利活動法人プレーパークせたがや
株式会社ラボ教育センター
公益財団法人ラボ国際交流センター

調査・分析結果の詳細は、令和２年度「体験活動等を通じた青少年自立支援プロジェクト」の「青少年の体験活動の推進に関する調査研究 報告書」に掲載しています。

体験活動等を通じた青少年自立支援プロジェクト　検索